(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第6077232号
(P6077232)
(45)発行日　平成29年2月8日(2017.2.8)　(24)登録日　平成29年1月20日(2017.1.20)

(51)Int.Cl.　　F I
A47B 81/00 (2006.01)　　A47B 81/00 F

請求項の数 6　(全 32 頁)

(21)出願番号　特願2012-150844(P2012-150844)
(22)出願日　平成24年7月4日(2012.7.4)
(65)公開番号　特開2014-12085(P2014-12085A)
(43)公開日　平成26年1月23日(2014.1.23)
審査請求日　平成27年2月6日(2015.2.6)

(73)特許権者　500253955
市場株式会社
兵庫県加西市中野町１３０９番地の３
(74)代理人　100079577
弁理士　岡田　全啓
(72)発明者　市場　博幸
兵庫県加西市中野町１３０９番地の３　市場株式会社内
(72)発明者　藤田　晶子
兵庫県加西市中野町１３０９番地の３　市場株式会社内

審査官　蔵野　いづみ

最終頁に続く

(54)【発明の名称】鞄の保管構造

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
鞄の背負い帯のいずれかを、背負い帯の内側に接して支持するための突出体が、立設体の表面に突き出し設けられるとともに、
鞄の鞄本体の底部ないしは底部の近傍に接して支持するための支持体が、前記突出体の下方において立設体の表面に設けられ、
前記突出体は、一方の突出体と他方の突出体とを備え、
前記一方の突出体及び他方の突出体に背負い帯を支持された鞄本体が、前記支持体の上方において前記一方の突出体及び他方の突出体と支持体との間に跨る状態にて、一方の突出体及び他方の突出体に背負い帯が架けられて、保管される、鞄の保管構造。
【請求項２】
前記一方の突出体及び他方の突出体は、鞄本体の両側に立設された、対向する立設体の対向する面において、一対の背負い帯のそれぞれの外側より内方に向けて、突き出し設けられ、
対向する一方の突出体と他方の突出体は、一対の背負い帯の間において、その先端が向き合うとともに、一方の背負い帯が一方の突出体に支持され且つ他方の背負い帯が他方の突出体に支持される、請求項１に記載の鞄の保管構造。
【請求項３】
鞄の背負い帯のいずれかを、背負い帯の内側に接して支持するための突出体が、立設体の表面に突き出し設けられるとともに、

鞄の鞄本体の底部ないしは底部の近傍に接して支持するための支持体が、前記突出体の下方において立設体の表面に設けられ、
前記突出体は、一対の背負い帯の向き合う内側より外側に向けて突き出し設けられた、一方の引っ掛け部と他方の引っ掛け部とを備え、
反対側に向けて突き出し設けられた一方の引っ掛け部と他方の引っ掛け部とは、一方の背負い帯が一方の引っ掛け部に支持され且つ他方の背負い帯が他方の引っ掛け部に支持され、
前記一方の引っ掛け部及び他方の引っ掛け部に背負い帯を支持された鞄本体が、前記支持体の上方において前記一方の引っ掛け部及び他方の引っ掛け部と支持体の間に跨る状態にて、一方の引っ掛け部及び他方の引っ掛け部に背負い帯が架けられて、保管される、鞄の保管構造。
【請求項４】
立設体は、収納家具の一部を構成し、
突出体及び／又は支持体を取り外された状態において、ハンガー支持体及び／又は棚板を設けることができる領域を備えた、請求項１又は請求項３に記載の鞄の保管構造。
【請求項５】
立設体は、収納家具の一部を構成し、
鞄保管領域を構成する立設体の近傍に、鞄に収納する物品の保管空間が設けられた、請求項１ないし請求項４のいずれかに記載の鞄の保管構造。
【請求項６】
立設体は、収納家具の一部を構成し、
鞄保管領域に保管された鞄本体の背負い帯側であって、鞄本体に付設された蓋体が開けられ背負い帯側に垂れ下がる空間の下方に、物品を収納する物品収納空間部を設けられた、請求項１ないし請求項５のいずれかに記載の鞄の保管構造。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
この発明は、鞄の保管構造に関し、特に、例えば小学生が家庭でランドセルを保管するための収納家具等における鞄の保管構造に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来より、家に帰宅した小学生は、ランドセルを、例えば、特開２０１２－５５６２３号公報（特許文献１）に開示されたような棚や台の上に置いて保管している。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１２－５５６２３号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
従来のランドセルを保管する棚や台は、ランドセルの背負い帯を折れ曲がった状態で保管するように構成されている。特に、ランドセル本体の背側に付設された背負い帯を下にして、その上にランドセル本体を置く等して保管される。このような状態で保管すると、特に背負い帯が傷み易い。
【０００５】
この発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、この発明の主たる目的は、ランドセル本体及びランドセルの背負い帯を永く守ることができる鞄の保管構造を提供することである。
【課題を解決するための手段】
【０００６】

この発明の請求項１にかかる鞄の保管構造は、鞄の背負い帯のいずれかを、背負い帯の内側に接して支持するための突出体が、立設体の表面に突き出し設けられるとともに、鞄の鞄本体の底部ないしは底部の近傍に接して支持するための支持体が、前記突出体の下方において立設体の表面に設けられ、前記突出体は、一方の突出体と他方の突出体とを備え、前記一方の突出体及び他方の突出体に背負い帯を支持された鞄本体が、前記支持体の上方において前記一方の突出体及び他方の突出体と支持体との間に跨る状態にて、一方の突出体及び他方の突出体に背負い帯が架けられて、保管される、鞄の保管構造である。

この発明の請求項２にかかる鞄の保管構造は、前記一方の突出体及び他方の突出体は、鞄本体の両側に立設された、対向する立設体の対向する面において、一対の背負い帯のそれぞれの外側より内方に向けて、突き出し設けられ、対向する一方の突出体と他方の突出体は、一対の背負い帯の間において、その先端が向き合うとともに、一方の背負い帯が一方の突出体に支持され且つ他方の背負い帯が他方の突出体に支持される、請求項１に記載の鞄の保管構造である。

この発明の請求項３にかかる鞄の保管構造は、鞄の背負い帯のいずれかを、背負い帯の内側に接して支持するための突出体が、立設体の表面に突き出し設けられるとともに、鞄の鞄本体の底部ないしは底部の近傍に接して支持するための支持体が、前記突出体の下方において立設体の表面に設けられ、前記突出体は、一対の背負い帯の向き合う内側より外側に向けて突き出し設けられた、一方の引っ掛け部と他方の引っ掛け部とを備え、反対側に向けて突き出し設けられた一方の引っ掛け部と他方の引っ掛け部とは、一方の背負い帯が一方の引っ掛け部に支持され且つ他方の背負い帯が他方の引っ掛け部に支持され、

前記一方の引っ掛け部及び他方の引っ掛け部に背負い帯を支持された鞄本体が、前記支持体の上方において前記一方の引っ掛け部及び他方の引っ掛け部と支持体の間に跨る状態にて、一方の引っ掛け部及び他方の引っ掛け部に背負い帯が架けられて、保管される、鞄の保管構造である。

この発明の請求項４にかかる鞄の保管構造は、立設体は、収納家具の一部を構成し、突出体及び／又は支持体を取り外された状態において、ハンガー支持体及び／又は棚板を設けることができる領域を備えた、請求項１又は請求項３に記載の鞄の保管構造である。

この発明の請求項５にかかる鞄の保管構造は、立設体は、収納家具の一部を構成し、鞄保管領域を構成する立設体の近傍に、鞄に収納する物品の保管空間が設けられた、請求項１ないし請求項４のいずれかに記載の鞄の保管構造である。

この発明の請求項６にかかる鞄の保管構造は、立設体は、収納家具の一部を構成し、鞄保管領域に保管された鞄本体の背負い帯側であって、鞄本体に付設された蓋体が開けられ背負い帯側に垂れ下がる空間の下方に、物品を収納する物品収納空間部を設けられた、請求項１ないし請求項５のいずれかに記載の鞄の保管構造である。

【発明の効果】

【０００７】

請求項１の発明によれば、鞄の背負い帯のいずれかを、背負い帯の内側に接して支持するための突出体が、立設体の表面に突き出し設けられるとともに、鞄の鞄本体の底部ないしは底部の近傍に接して支持するための支持体が、前記突出体の下方において立設体の表面に設けられ、前記突出体は、一方の突出体と他方の突出体とを備え、前記一方の突出体及び他方の突出体に背負い帯を支持された鞄本体が、前記支持体の上方において前記一方の突出体及び他方の突出体と支持体との間に跨る状態にて、一方の突出体及び他方の突出体に背負い帯が架けられて、保管できるので、ランドセル本体及びランドセルの背負い帯を永く守ることができる。

請求項２の発明によれば、前記一方の突出体及び他方の突出体は、鞄本体の両側に立設された、対向する立設体の対向する面において、一対の背負い帯のそれぞれの外側より内方に向けて、突き出し設けられ、対向する一方の突出体と他方の突出体は、一対の背負い帯の間において、その先端が向き合うとともに、一方の背負い帯が一方の突出体に支持され且つ他方の背負い帯が他方の突出体に支持できるので、ランドセル本体及びランドセルの背負い帯を永く守ることができる。

請求項３の発明によれば、鞄の背負い帯のいずれかを、背負い帯の内側に接して支持するための突出体が、立設体の表面に突き出し設けられるとともに、鞄の鞄本体の底部ないしは底部の近傍に接して支持するための支持体が、前記突出体の下方において立設体の表面に設けられ、前記突出体は、一対の背負い帯の向き合う内側より外側に向けて突き出し設けられた、一方の引っ掛け部と他方の引っ掛け部とを備え、反対側に向けて突き出し設けられた一方の引っ掛け部と他方の引っ掛け部とは、一方の背負い帯が一方の引っ掛け部に支持され且つ他方の背負い帯が他方の引っ掛け部に支持され、前記一方の引っ掛け部及び他方の引っ掛け部に背負い帯を支持された鞄本体が、前記支持体の上方において前記一方の引っ掛け部及び他方の引っ掛け部と支持体の間に跨る状態にて、一方の引っ掛け部及び他方の引っ掛け部に背負い帯が架けられて、保管されるので、ランドセル本体及びランドセルの背負い帯を永く守ることができる。

請求項４の発明によれば、立設体は、収納家具の一部を構成し、突出体及び／又は支持体を取り外された状態において、ハンガー支持体及び／又は棚板を設けることができる領域を備えるので、ランドセル収納部にハンガー支持体及び／又は棚板を設けられるように構成されていることから、ランドセルを使用しない年代になった人も、ランドセル収納部を衣服等の保管スペース等として利用することができる。

請求項５の発明によれば、立設体は、収納家具の一部を構成し、鞄保管領域を構成する立設体の近傍に、鞄に収納する物品の保管空間が設けられるので、ランドセルが保管された場所の近傍にランドセルに収納される教科書類等の保管空間があるので、ランドセルに入れ忘れた教科書類の確認が容易で、小学生の忘れ物を減らすことに貢献する。

請求項６の発明によれば、立設体は、収納家具の一部を構成し、鞄保管領域に保管された鞄本体の背負い帯側であって、鞄本体に付設された蓋体が開けられ背負い帯側に垂れ下がる空間の下方に、物品を収納する物品収納空間部を設けられるので、教科書類以外の教材や学校の道具を収納可能な、空間を備えることから、楽器類や体操服等の衣料類を保管することが容易で、紛失を減らすことに資する。

【０００８】

この発明の上述の目的、その他の目的、特徴及び利点は、図面を参照して行う以下の発明を実施するための形態の説明から一層明らかとなろう。

【図面の簡単な説明】

【０００９】

【図１】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具を示す斜視図解図である。
【図２】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具を示す斜視図解図である。
【図３】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具を示す正面図解図である。
【図４】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具を示す縦断面図解図である。
【図５】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具を示す縦断面図解図である。
【図６Ａ】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図６Ｂ】側板の斜視図解図である。
【図７Ａ】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図７Ｂ】側板の斜視図解図である。
【図８】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図９】底板の斜視図解図である。
【図１０】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図１１】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図１２】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図１３】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図１４】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図１５】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図１６】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図１７】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。
【図１８】図１図示収納家具の組み立て途中の斜視図解図である。

【図１９】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具の使用方法を示す斜視図解図である。
【図２０】図１図示ランドセル収納構造を備える収納家具の他の一例を示す正面図解図である。
【図２１】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具の他の一例を示す斜視図解図である。
【図２２】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具の他の一例を示す斜視図解図である。
【図２３】図２１図示ランドセル収納構造を備える収納家具の使用方法を示す斜視図解図である。
【図２４】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具の他の一例を示す斜視図解図である。
【図２５】支持台の別例を示す斜視図解図である。
【図２６】支持台の取り付け構造を示す斜視図解図である。
【図２７】図２４図示収納家具の縦断面図解図である。
【図２８】突出体の別例を示す斜視図解図である。
【図２９】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具の他の一例を示す底面図解図である。
【図３０】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具の他の一例を示す縦断面図解図である。
【図３１】ランドセルの外観図である。
【図３２】ランドセルの外観図である。
【図３３】本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具の説明図である。
【発明を実施するための形態】
【００１０】
図１は、本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具を示す斜視図解図であり、図２は、本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具を示す斜視図解図であり、図３は、本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具を示す正面図解図であり、図４は、本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具を示す縦断面図解図であり、図５は、本発明に係るランドセル収納構造を備える収納家具を示す縦断面図解図である。
【００１１】
鞄の収納構造を備える収納家具１０は、主として、小学生が家庭でランドセル１を保管すると共に教科書や学校で使用する道具を収納するためのものである。
ランドセル１は、鞄本体２の上部の中央部に設けられた一対の第１連結体３ａ及び第２連結体３ｂに、それぞれ第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂが第１連結環５ａ及び第２連結環５ｂを介して取り付けられている。
第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂの下端には、鞄本体２の底部６ｅの固定具（図示せず）に固着された第１下帯７ａ及び第２下帯７ｂに連結されている。
鞄本体２は、正面部６ａと、正面部６ａと対向する背面部６ｂと、正面部６ａの右端と背面部６ｂの右端との間に跨る右側面部６ｃと、正面部６ａの左端と背面部６ｂの左端との間に跨る左側面部６ｄと、正面部６ａ，背面部６ｂ，右側面部６ｃ及び左側面部６ｄの下端に連設された底部６ｅと、正面部６ａ，背面部６ｂ，右側面部６ｃ及び左側面部６ｄの上端に開設された開口部６ｆとを備える。
鞄本体２の正面側の正面部６ａには、蓋片８が鞄本体２の背面部６ｂに連設され、蓋片８は、鞄本体２の上部の開口部６ｆを覆うとともに、鞄本体２の正面の正面部６ａをも覆うように構成されている。
【００１２】
収納家具１０は、主として、左右一対の第１側板１２及び第２側板１４と、第１側板１２と第２側板１４との間に介在する中板１６と、第１側板１２，第２側板１４及び中板１６を連結する底板１８と、第１側板１２，第２側板１４及び中板１６の間に架け渡された

背板２０と、ブックスタンド部２２と、引き出し部２４と、棚板部２６と、フック部２８等から構成されている。

【００１３】

収納家具１０は、縦型の収納ラック状で、平面視長方形の底板１８の両側面に立設体を構成する第１側板１２及び第２側板１４が起立すると共に、背面側には立設体を構成する背板２０が起立し、第１側板１２と第２側板１４との間に所定間隔をおいて、立設体を構成する中板１６が第１側板１２及び第２側板１４と平行に起立し固定されている。

収納家具１０は、正面が開放された状態で縦長の収納ラック状になっている。このような状態に並列された第１側板１２と中板１６との間に、第１ランドセル保管部３０及び第２ランドセル保管部３２が形成される。

【００１４】

上方の第１ランドセル保管部３０は、下方の第２ランドセル保管部３２の上部に配置されている。第１ランドセル保管部３０及び第２ランドセル保管部３２は、第１ランドセル保管部３０及び第２ランドセル保管部３２にランドセル１を保管する必要性がなくなったときに、第１ランドセル保管部３０及び第２ランドセル保管部３２の空間を、衣類等保管部３４に変えることができるように、構成されている。

【００１５】

第１ランドセル保管部３０の近傍には、教科書等のランドセル１に収納される物品を収納するランドセル収納物品保管部３６が形成されている。

【００１６】

背板２０の背後には、ランドセル１以外の小学生が使用する楽器類等を収納した袋物等を保管するための物品収納空間部３８が形成されている。

【００１７】

第１ランドセル保管部３０は、ランドセル１の第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂを、第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂの内側に接して支持するための第１突出体５０及び第２突出体５２が、立設体を構成する第１側板１２及び中板１６の表面に第１突出体５０及び第２突出体５２の軸心を直交させて突き出し設けられるとともに、ランドセル１の鞄本体２の底部６ｅないしは底部６ｅの近傍に接して支持するための第１支持体６０及び第２支持体６２が、前記第１突出体５０及び第２突出体５２の下方において立設体を構成する第１側板１２及び中板１６の表面に設けられている。

前記第１突出体５０及び第２突出体５２に第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂを支持された鞄本体２の高さ方向が、前記第１支持体６０及び第２支持体６２の上方において、前記第１突出体５０及び第２突出体５２と第１支持体６０及び第２支持体６２との間に跨る状態にて、保管される。

ランドセル１は、開口部６ｆを上にして、正面部６ａを正面に、背面部６ｂを向こう側に、右側面部６ｃを中板１６側に、左側面部６ｄを第１側板１２側にして、第１背負い帯４ａを第１突出体５０に、第２背負い帯４ｂを第２突出体５２に架けて、第１ランドセル保管部３０に保管される。

【００１８】

第２ランドセル保管部３２も、第１ランドセル保管部３０と同様な幅を備えている。

第２ランドセル保管部３２は、ランドセル１の第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂを、第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂの内側に接して支持するための第３突出体７０及び第４突出体７２が、立設体を構成する第１側板１２及び中板１６の表面に第３突出体７０及び第４突出体７２の軸心を直交させて突き出し設けられるとともに、ランドセル１の鞄本体２の底部６ｅないしは底部６ｅの近傍に接して支持するための第１支持体にかわる底板１８及び第２支持体にかわる底板１８が、前記第３突出体７０及び第４突出体７２の下方において立設体を構成する第１側板１２及び中板１６の間に設けられている。

前記第３突出体７０及び第４突出体７２に第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂを支持された鞄本体２の高さ方向が、前記底板１８の上方において、前記第３突出体７０及び第４突出体７２と底板１８との間に跨る状態にて、保管される。

そして、ランドセル１は、開口部６ｆを上にして、正面部６ａを正面に、背面部６ｂを向こう側に、右側面部６ｃを中板１６側に、左側面部６ｄを第１側板１２側にして、第１背負い帯４ａを第３突出体７０に、第２背負い帯４ｂを第４突出体７２に架けて、第２ランドセル保管部３２に保管される。

【００１９】

前記第１突出体５０及び第２突出体５２は、鞄本体２の両側に立設された、対向する立設体を構成する第１側板１２及び中板１６の対向する面において、一対の第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂのそれぞれの外側より内方に向けて、突き出し設けられている。

対向する第１突出体５０及び第２突出体５２は、一対の第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂの間において、その軸心が水平で水平線上に並びその先端が向き合うように、第１側板１２と中板１６とに垂設されるとともに、一方の第１背負い帯４ａが一方の第１突出体５０に支持され且つ他方の第２背負い帯４ｂが他方の第２突出体５２に支持される。

【００２０】

第２側板１４と中板１６との間には、第１ランドセル保管部３０に近接した位置において、ランドセル収納物品保管部３６を構成するブックスタンド部２２が設けられている。

ブックスタンド部２２は、第１ランドセル保管部３０に保管されたランドセル１に収納される教科書等を主として保管するものであって、階段式に手前から向こうに向かうに従って高くなるように、複数並列されている。このブックスタンド部２２は、教科書類の下端を支持して立て掛けられるように構成された断面Ｌ字形の薄板状の冊子棚８０を備える。

【００２１】

第２側板１４と中板１６との間には、ランドセル収納物品保管部３６の下方において、引き出し部２４が設けられている。この引き出し部２４は、体操服や給食袋やハンカチ等の衣料類を収納するものである。

【００２２】

第２側板１４と中板１６との間には、引き出し部２４の下方において、棚板部２６が設けられている。

【００２３】

収納家具１０の高さは、小学生が第１ランドセル保管部３０及びランドセル１を保管することが可能な高さで、例えば、約８００ｍｍである。また、第１ランドセル保管部３０の大きさは、正面の幅が約２７０～２９０ｍｍで奥行きが約２８０～３００ｍｍである。この第１ランドセル保管部３０及び第２ランドセル保管部３２の大きさは、ランドセル１を立てた状態（鞄本体２の開口部６ｆを上に、鞄本体２の底部６ｅを下にした状態）で背面部６ｂを背板２０に向けて保管可能な大きさであればよい。

【００２４】

収納家具１０は、構成する部品をそのままで移送し、販売地又は使用地で組み立てるノックダウン方式のものである。

以下、収納家具１０について構成部品を説明し、更に収納家具１０を組み立てる方法について説明する。

組み立て方式の収納家具１０は、左右一対の第１側板１２及び第２側板１４と、前記第１側板１２と第２側板１４との間に介在する中板１６と、前記第１側板１２，第２側板１４及び中板１６を連結する底板１８と、前記第１側板１２，第２側板１４及び中板１６の間に架け渡された背板２０と、ブックスタンド部２２と、引き出し部２４と、棚板部２６と、フック部２８等を備えている。

【００２５】

第１側板１２と第２側板１４とは、側面視略五角形で、その前端縁の上部が面取りされて、ランドセル１の鞄本体２及び蓋片８の前側の円弧状の形状に合わせた円弧状の隅を備える。

第１側板１２及び第２側板１４の高さは、第１ランドセル保管部３０及び第２ランドセ

ル保管部３２を構成できるように第１ランドセル保管部３０と第２ランドセル保管部３２とを合わせた高さに構成されている。第１側板１２及び第２側板１４の幅は、第１側板１２及び第２側板１４の背後（向こう側）の領域に物品収納空間部３８を構成することができるように、第２ランドセル保管部３２と物品収納空間部３８とを合わせた長さの幅に構成されている。

第１側板１２と第２側板１４とは、前端縁及び後端縁が直線状であり、平行に形成されている。第１側板１２と第２側板１４とは、下端縁が直線状であり、前端縁及び後端縁に直交している。第１側板１２と第２側板１４とは、対称形である。

【００２６】

中板１６は、側面視略五角形で、その前端縁の上部が面取りされて、ランドセル１の鞄本体２及び蓋片８の前側の円弧状の形状に合わせた円弧状の隅を備える。

中板１６の高さは、第１ランドセル保管部３０及び第２ランドセル保管部３２を構成できるように第１ランドセル保管部３０と第２ランドセル保管部３２とを合わせた高さに構成されている。

中板１６は、第１側板１２及び第２側板１４と同じ高さを備える。

中板１６は、第１側板１２及び第２側板１４の幅より短い幅を備え、第１ランドセル保管部３０及び第２ランドセル保管部３２の幅に沿って構成されている。

中板１６は、前端縁及び後端縁は直線状であり、平行に形成されている。中板１６は、下端縁が直線状であり、前端縁及び後端縁と直交している。

【００２７】

底板１８は、平面視長方形であり、その長さが、第１ランドセル保管部３０及びランドセル収納物品保管部３６を構成できるように、第１ランドセル保管部３０の幅とランドセル収納物品保管部３６の幅とを合わせた長さを備える。

底板１８は、その幅が、背後（向こう側）の領域に物品収納空間部３８を構成できるように、第１ランドセル保管部３０の奥行きと背板２０の厚さと物品収納空間部３８の幅とを合わせた距離を有する。

【００２８】

底板１８は、起立した第１側板１２の下端縁の内側面に当接するために、左側端縁が直線状であり、起立した第２側板１４の下端縁の内側面に当接するために、右側端縁が直線状である。

底板１８は、起立した中板１６の下端縁に当接できるように、その上面が平面状であり、その下面が、上面と平行な平面状である。

【００２９】

底板１８は、第１側板１２と接合する左端縁に、その中央においてダボ３００が突設され、中央のダボ３００を挟んで手前側に雌螺子孔３１２が穿設され及び向こう側に雌螺子孔３１４が穿設されている。

底板１８は、第２側板１４と接合する右端縁に、その中央においてダボ３１６が突設され、中央のダボ３１６を挟んで手前側に雌螺子孔３１８が穿設され及び向こう側に雌螺子孔３２０が穿設されている。

更に、底板１８は、中板１６を固定するために、長さ方向における中央において、手前側縁と向こう側縁との間の略中間にダボ穴３２２が穿設され、該ダボ穴３２２を挟んで手前側に雌螺子孔３２４が穿設され及び向こう側に雌螺子孔３２６が穿設されている。

【００３０】

底板１８の下面の四隅及び中央には、収納家具１０を容易に移動させることができるようにキャスタ１９０が設けられているが、キャスタ１９０を設けるか否かは任意である。

【００３１】

第１側板１２は、底板１８に固定するために、下端縁の中央にダボ穴２１０が穿設されるとともに、中央のダボ穴２１０を挟んで手前側に雌螺子孔２１２が穿設され且つ向こう側に雌螺子孔２１４が穿設されている。

第１側板１２は、背板２０に固定するために、高さ方向における中央において、ダボ穴

２２０を穿設され、且つ雌螺子孔２２２を穿設されている。
【００３２】
第２側板１４は、底板１８に固定するために、下端縁の中央にダボ穴２４０が穿設されるとともに、中央のダボ穴２４０を挟んで手前側に雌螺子孔２４２が穿設され且つ向こう側に雌螺子孔２４４が穿設されている。
第２側板１４は、背板２０に固定するために、高さ方向における中央において、ダボ穴２５０を穿設され、且つ雌螺子孔２５２を穿設されている。
【００３３】
中板１６は、底板１８に固定するために、底板１８と接合する下端縁の中央にダボ２７０が突設され、中央のダボ２７０を挟んで手前側の雌螺子孔２７２及び向こう側の雌螺子孔２７４が穿設されている。
中板１６は、背板２０と接合するために、背板２０と接合する向こう側端縁の中央に雌螺子孔２７６が穿設され、中央の該雌螺子孔２７６を挟んで、上側の雌螺子孔２７８が穿設され及び下側の雌螺子孔２８０が穿設されている。
【００３４】
第１側板１２と第２側板１４と中板１６とは、それぞれの主面が略々平行になるように且つ底板１８の幅方向にのびるように、底板１８に立設され、第１側板１２，第２側板１４及び中板１６は、それぞれの主面が底板１８に直交する。
背板２０は、その主面が底板１８の長さ方向にのびるように且つ底板１８と直交するように、底板１８に立設され、その主面が第１側板１２，第２側板１４及び中板１６のそれぞれの主面と直交する。
【００３５】
背板２０は、全体的に大概平板状であり、背板２０を構成する部品が組み合わされて大概一枚の板状体を構成する、ノックダウン方式のものである。
背板２０は、起立した第１側板１２と第２側板１４との間において、第１側板１２及び第２側板１４の高さ方向における最も上部に架け渡される第１桟材１２０と、第１側板１２及び第２側板１４の高さ方向における中間に架け渡される第２桟材１２２と、第１側板１２及び第２側板１４の高さ方向における最も下部に架け渡される第３桟材１２４とを備える。第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４は、第１側板１２と第２側板１４との間に架け渡されるための長さを備えている。
更に、背板２０は、起立した第１側板１２と第２側板１４との間において架設された、第１桟材１２０と第２桟材１２２との間に架け渡され張設される第１背面板１２６と、第２桟材１２２と第３桟材１２４との間に架け渡され張設される第２背面板１２８とを備える。
第１背面板１２６及び第２背面板１２８は、正面視長方形状の板状体である。第１背面板１２６及び第２背面板１２８は、第１側板１２と第２側板１４との間に架け渡されるための長さを備えている。
第１桟材１２０及び第２桟材１２２は、断面長方形の直方体状であり、第１桟材１２０と第２桟材１２２とが対向する面に、第１背面板１２６を嵌め込むための、嵌入溝１２０ａと嵌入溝１２２ａとが穿設されている。
第２桟材１２２及び第３桟材１２４は、第２桟材１２２と第３桟材１２４とが対向する面に、第２背面板１２８を嵌め込むための、嵌入溝１２２ｂと嵌入溝１２４ａとが穿設されている。
【００３６】
第１桟材１２０の嵌入溝１２０ａと第２桟材１２２の嵌入溝１２２ａとは、向き合うように形成された、直線状である。第１桟材１２０の嵌入溝１２０ａは、第１桟材１２０の長さ方向にのびて、平板状の第１背面板１２６の上端縁を嵌め込むように、溝幅及び深さを形成され、且つ第２桟材１２２の嵌入溝１２２ａは、第２桟材１２２の長さ方向にのびて、平板状の第１背面板１２６の下端縁を嵌め込むように、溝幅及び深さを形成されている。

第２桟材１２２の嵌入溝１２２ｂと第３桟材１２４の嵌入溝１２４ａとは、向き合うように形成された、直線状である。第２桟材１２２の嵌入溝１２２ｂは、第２桟材１２２の長さ方向にのびて、平板状の第２背面板１２８の上端縁を嵌め込むように、溝幅及び深さを形成され、且つ第３桟材１２４の嵌入溝１２４ａは、第３桟材１２４の長さ方向にのびて、平板状の第２背面板１２８の下端縁を嵌め込むように、溝幅及び深さを形成されている。

【００３７】

第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４の左端縁は平面状であり、第１側板１２の平板状内側面に当接されその主面が第１側板１２の主面と直交して固定され垂設され、且つ、第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４の右端縁は平面状であり、第２側板１４の平板状内側面に当接されその主面が第２側板１４の主面と直交して固定され垂設される。

第１桟材１２０の左端縁には、第１桟材１２０の長手方向に、ダボ３４０が突設され且つ雌螺子孔３４２が穿設されている。

第１桟材１２０の右端縁には、第１桟材１２０の長手方向に、ダボ３６０が突設され且つ雌螺子孔３６２が穿設されている。

第２桟材１２２の左端縁には、第２桟材１２２の長手方向に、ダボ３４４が突設され且つ雌螺子孔３４６が穿設されている。

第２桟材１２２の右端縁には、第２桟材１２２の長手方向に、ダボ３６４が突設され且つ雌螺子孔３６６が穿設されている。

第３桟材１２４の左端縁には、第３桟材１２４の長手方向に、雌螺子孔３４８が穿設され且つダボ３５０が突設されている。

第３桟材１２４の右端縁には、第３桟材１２４の長手方向に、雌螺子孔３６８が穿設され且つダボ３７０が突設されている。

第１背面板１２６及び第２背面板１２８の左端縁は、直線状であり、起立した第１側板１２の平板状内側面に当接されその主面が第１側板１２の主面と直交して固定され垂設され、且つ、第１背面板１２６及び第２背面板１２８の右端縁は、直線状であり、起立した第２側板１４の平板状内側面に当接されその主面が第２側板１４の主面と直交して固定され垂設されている。

第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４の手前側面の中央は、平面状であり、起立した中板１６の平面状向こう側面に当接されて固定される。

【００３８】

第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４並びに第１背面板１２６及び第２背面板１２８は、その主面が垂直に起立し、第１側板１２，第２側板１４及び中板１６の垂直状に起立した主面と直交し、且つ、その主面が垂直に起立し、底板１８の水平状の主面と直交する。

【００３９】

第１側板１２は、その下端縁近傍の内側面（中板１６と対向する面）において底板１８の左端縁と接合され、ダボ穴２１０に底板１８のダボ３００が嵌入されるとともに、雌螺子孔２１２と底板１８の雌螺子孔３１２と合わされ、且つ雌螺子孔２１４と底板１８の雌螺子孔３１４とを合わされて、ボルト９１０を、雌螺子孔２１２と雌螺子孔３１２とに挿入され螺合され及びボルト９１２を、雌螺子孔２１４と雌螺子孔３１４とに挿入され螺合され、その主面が底板１８の主面と直交して、底板１８に固定され垂設される（図１２参照）。

第２側板１４は、その下端縁近傍の内側面（中板１６と対向する面）において底板１８の右端縁と接合され、ダボ穴２４０に底板１８のダボ３１６が嵌入され、雌螺子孔２４２と底板１８の雌螺子孔３１８と合わされ、且つ雌螺子孔２４４と底板１８の雌螺子孔３２０とを合わされて、ボルト９１４を、雌螺子孔２４２と雌螺子孔３１８とに挿入され螺合され及びボルト９１６を、雌螺子孔２４４と雌螺子孔３２０とに挿入され螺合され、その主面が底板１８の主面と直交して、底板１８に固定され垂設される（図７参照）。

【００４０】
中板１６は、その下端縁において底板１８の上面の中央に接合され、ダボ２７０を底板１８のダボ穴３２２に嵌入され、雌螺子孔２７２と底板１８の雌螺子孔３２４とを合わされ且つ雌螺子孔２７４と底板１８の雌螺子孔３２６とを合わされて、ボルト９１８を雌螺子孔２７２と雌螺子孔３２４とに挿入され螺合され及びボルト９２０を、雌螺子孔２７４と雌螺子孔３２６とに挿入され螺合されて、底板１８に固定される（図６参照）。
【００４１】
第１側板１２は、その内側面（中板１６と対向する面）を背板２０を構成する第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４の左端縁に接合させ、第１桟材１２０のダボ３４０を第１側板１２のダボ穴２１６に、第２桟材１２２のダボ３４４を第１側板１２のダボ穴２２０に及び第３桟材１２４のダボ３５０を第１側板１２のダボ穴２２６に嵌入させて、背板２０に固定される（図１２参照）。
更に、第１側板１２は、その内側面（中板１６と対向する面）を背板２０を構成する第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４の左端縁に接合させ、第１側板１２の雌螺子孔２１８と第１桟材１２０の雌螺子孔３４２とを合わせ、第１側板１２の雌螺子孔２２２と第２桟材１２２の雌螺子孔３４６とを合わせ、第１側板１２の雌螺子孔２２４と第３桟材１２４の雌螺子孔３４８とを合わせ、雌螺子孔２１８と雌螺子孔３４２とにボルト９２２を嵌入させ、雌螺子孔２２２と雌螺子孔３４６とにボルト９２４を嵌入させ、雌螺子孔２２４と雌螺子孔３４８とにボルト９２６を嵌入させ、螺合させて、背板２０に固定される。
第２側板１４は、その内側面（中板１６と対向する面）を背板２０を構成する第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４の右端縁に接合させ、第１桟材１２０のダボ３６０を第２側板１４のダボ穴２４６に、第２桟材１２２のダボ３６４を第２側板１４のダボ穴２５０に及び第３桟材１２４のダボ３７０を第２側板１４のダボ穴２５６に嵌入させて、背板２０に固定される（図１０参照）。
更に、第２側板１４は、その内側面（中板１６と対向する面）を背板２０を構成する第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４の右端縁に接合させ、第２側板１４の雌螺子孔２４８と第１桟材１２０の雌螺子孔３６２とを合わせ、第２側板１４の雌螺子孔２５２と第２桟材１２２の雌螺子孔３６６とを合わせ、第２側板１４の雌螺子孔２５４と第３桟材１２４の雌螺子孔３６８とを合わせ、雌螺子孔２４８と雌螺子孔３６２とにボルト９２８を嵌入させ、雌螺子孔２５２と雌螺子孔３６６とにボルト９３０を嵌入させ、雌螺子孔２５４と雌螺子孔３６８とにボルト９３２を嵌入させ、螺合させて、背板２０に固定される。
【００４２】
中板１６は、向こう側端縁において、背板２０と接し合わされ、中板１６の雌螺子孔２７６と第１桟材１２０の雌螺子孔３８０とを合わせ、中板１６の雌螺子孔２７８と第２桟材１２２の雌螺子孔３８２とを合わせ、中板１６の雌螺子孔２８０と第３桟材１２４の雌螺子孔３８４とを合わせ、雌螺子孔２７６と雌螺子孔３８０とにボルト９３４を嵌入させ、雌螺子孔２７８と雌螺子孔３８２とにボルト９３６を嵌入させ、雌螺子孔２８０と雌螺子孔３８４とにボルト９３８を嵌入させ、ボルト９３４，９３６及び９３８を螺合させて、背板２０に固定される（図１１参照）。
【００４３】
第１ランドセル保管部３０は、起立した第１側板１２と中板１６及び背板２０とによって囲繞された領域に形成されている。
物品収納空間部３８又は第２ランドセル保管部３２は、第１ランドセル保管部３０の下段において、起立した第１側板１２と中板１６及び背板２０とによって囲繞された領域に形成されている。
第１ランドセル保管部３０を構成する第１突出体５０は、ランドセル１の第１背負い帯４ａをわん曲した状態で、その周囲に掛けるために、円錐状ないしは円柱状の引っ掛け部５０ａを備え、引っ掛け部５０ａの自由端側に落下防止のための膨大部５０ｂを有する。

第１突出体５０は、引っ掛け部５０ａにおける第１側板１２に固定する側に、連設された固定円柱状部５０ｃを備え、固定円柱状部５０ｃの先端に、雄螺子棒５０ｄを突設されている。

第１ランドセル保管部３０を構成する第２突出体５２は、ランドセル１の第２背負い帯４ｂをわん曲した状態で、その周囲に掛けるために、円錐状ないしは円柱状の引っ掛け部５２ａを備え、引っ掛け部５２ａの自由端側に落下防止のための膨大部５２ｂを有する。

第２突出体５２は、引っ掛け部５２ａにおける第２側板１４に固定する側に、連設された固定円柱状部５２ｃを備え、固定円柱状部５２ｃの先端に、雌螺子孔５２ｄを穿設されている。

第１突出体５０は、雄螺子棒５０ｄを、第１側板１２の内側面（第２側板１４との対向面）に穿設された雌螺子孔５４に螺合させ、第１突出体５０の軸心を第１側板１２の内側面に直交させて、第１側板１２に固定される。

第２突出体５２は、雌螺子孔５２ｄに、第２側板１４の内側面（第１側板１２との対向面）から外側面に貫設された貫挿孔５６を通して第２側板１４に嵌挿された雄螺子棒５８を螺合させ、第２突出体５２の軸心を第２側板１４の内側面に直交させて、第２側板１４に固定される。雄螺子棒５８は、ボルトにより形成されている。

【００４４】

第２ランドセル保管部３２は、第１ランドセル保管部３０の下段において、起立した第１側板１２と中板１６及び背板２０とによって囲繞された領域に形成されている。

第２ランドセル保管部３２を構成する第３突出体７０は、図１５において示すように、ランドセル１の第１背負い帯４ａをわん曲した状態で、その周囲に掛けるために、円錐状ないしは円柱状の引っ掛け部７０ａを備え、引っ掛け部７０ａの自由端側に落下防止のための膨大部７０ｂを有する。

第３突出体７０は、引っ掛け部７０ａにおける第１側板１２に固定する側に、連設された固定円柱状部７０ｃを備え、固定円柱状部７０ｃの先端に、雌螺子孔７０ｄを穿設されている。

第２ランドセル保管部３２を構成する第４突出体７２は、図１６において示すように、第２背負い帯４ｂをわん曲した状態で、その周囲に掛けるために、円錐状ないしは円柱状の引っ掛け部７２ａを備え、引っ掛け部７２ａの自由端側に落下防止のための膨大部７２ｂを有する。

第４突出体７２は、引っ掛け部７２ａにおける第２側板１４に固定する側に、連設された固定円柱状部７２ｃを備え、固定円柱状部７２ｃの先端に、雌螺子孔７２ｄを穿設されている。

第３突出体７０は、雌螺子孔７０ｄに、第１側板１２の内側面（第２側板１４との対向面）から外側面に貫設された貫挿孔７６を通して第１側板１２に嵌挿された雄螺子棒７８（第１フック２８Ａのボルト９７０）を螺合させ、第３突出体７０の軸心を第１側板１２の内側面に直交させて、第１側板１２に固定される（図１５参照）。

第４突出体７２は、雌螺子孔７２ｄを、第２側板１４の内側面（第１側板１２との対向面）に穿設された雌螺子孔７４に合わせて、雄螺子棒７８を雌螺子孔７２ｄ及び雌螺子孔７４に嵌挿させ螺合させ、第４突出体７２の軸心を第２側板１４の内側面に直交させて、第２側板１４に固定される（図１６参照）。

【００４５】

第１ランドセル保管部３０は、下部において、第１突出体５０及び第２突出体５２に第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂを引っ掛けた状態のランドセル１の底部６ｅを支持するための第１支持体６０を備える。

第１支持体６０は、平面視方形状の板体で、対向する第１側板１２の内側面と中板１６の内側面との間に架設される。

第１支持体６０は、対向する第１側板１２の内側面と中板１６の内側面との間の距離に等しい幅を備え、第１側板１２及び中板１６の前端縁と背板２０の手前側面との間の距離に等しい奥行きを備える。

第１支持体６０は、第１側板１２に穿設された第１ダボ穴８１０に嵌入された第１ダボ片８１４及び中板１６の内面に穿設された第２ダボ穴８１２に嵌入された第２ダボ片８１６に係止されて、第１側板１２と中板１６との間で第１突出体５０及び第２突出体５２の下方に固定される（図１７参照）。

第１支持体６０は、その下面に、第１ダボ片８１４及び第２ダボ片８１６を嵌入するダボ嵌入溝６０ａ及びダボ嵌入溝６０ｂが穿設されている。第１側板１２の内側面に固定された第１ダボ片８１４に第１支持体６０の左端縁に穿設されたダボ嵌入溝６０ａを嵌入させ且つ中板１６の内側面に固定された第２ダボ片８１６を、第１支持体６０の右端縁に穿設されたダボ嵌入溝６０ｂに嵌入させて、第１側板１２と中板１６との間に係止される。

【００４６】

第２ランドセル保管部３２は、下部において、第３突出体７０及び第４突出体７２に第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂを引っ掛けた状態のランドセル１の底部６ｅを支持するための第２支持体６２を備える。

この実施の形態においては、第２支持体６２は、底板１８の第１側板１２と中板１６との間の領域によって構成されている。

底板１８の上面は、第３突出体７０及び第４突出体７２に第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂを引っ掛けた状態のランドセル１の底部６ｅを支持する。

【００４７】

第１ランドセル保管部３０は、第１突出体５０及び第２突出体５２並びに第１支持体６０を第１側板１２及び中板１６から取り外すことにより、衣類等保管部３４として用いることができる。第１ランドセル保管部３０を衣類等保管部３４として用いるときは、第２ランドセル保管部３２を構成する第３突出体７０及び第４突出体７２も第１側板１２及び中板１６から取り外す。

衣類等保管部３４として用いるときは、図２１に示すように、ハンガー等の衣服を保管する用品を引っ掛けるための引っ掛け体１３０を第１側板１２と中板１６との間に架設して、衣類等保管部３４は、衣類等を保管するための空間を構成する。

【００４８】

ブックスタンド部２２は、第２側板１４及び中板１６の上部において、手前側が最も低く、向こう側に向かうに従って段々と高くなるように、対向する第２側板１４の内側面と中板１６の内側面との間に、水平に架設された冊子棚８０を備える。

冊子棚８０は、最も手前側の第１の冊子棚８０Ａと、中間の第２の冊子棚８０Ｂと、最も向こう側（奥側）の第３の冊子棚８０Ｃとを備える。

第１の冊子棚８０Ａは、最も低い位置に設けられ、第３の冊子棚８０Ｃは、最も高い位置に設けられ、第２の冊子棚８０Ｂは、第１の冊子棚８０Ａと第３の冊子棚８０Ｃとの間で中間の高さに設けられている。

ブックスタンド部２２は、手前側が低く向こう側が高いために、収納された教科書類を手前から見渡して必要なものを取り出し易くしている。

【００４９】

冊子棚８０は、教科書類の下端を載置するための平面視長方形板状の冊子載置部８２と、冊子載置部８２の前面において冊子載置部８２の上面より上方に向けて突き出た正面視長方形の板状の冊子受け部８４とを備える。

冊子載置部８２と冊子受け部８４とは、横断面Ｌ字形で、対向する第２側板１４の内側面と中板１６の内側面との間の距離と同一の長さを備える。

【００５０】

第１の冊子棚８０Ａの冊子載置部８２は、第２側板１４及び中板１６の手前側端縁と背板２０の手前側面との間の距離に等しい幅を備えており、第２の冊子棚８０Ｂ及び第３の冊子棚８０Ｃの冊子載置部８２は、載置される教科書類の厚さ以上の幅を備えている。

第２の冊子棚８０Ｂ及び第３の冊子棚８０Ｃの冊子載置部８２は、第１の冊子棚８０Ａの冊子載置部８２より幅（奥行き）は狭い。

冊子棚８０は、最も手前側の第１の冊子棚８０Ａと、中間の第２の冊子棚８０Ｂと、最

も向こう側（奥側）の第３の冊子棚８０Ｃとを備える。
冊子受け部８４は、教科書類の下部の一部を覆う高さを備え、教科書類の上端部が向こう側に位置するように傾斜して冊子棚８０に載置されたときに、教科書類の下端部が冊子棚８０からずり落ちないように停止させるためのストッパーの機能を備える。
【００５１】
ランドセル収納物品保管部３６を構成するブックスタンド部２２は、冊子棚８０の上方において、対向する中板１６の内側面と第２側板１４の内側面との間に、水平に架け渡された、断面円形の棒状の冊子係止部８６を備える。
冊子係止部８６は、階段状に手前側から向こう側に向かうに従って高くなる冊子棚８０の冊子受け部８４の上方に設けられており、第１の冊子棚８０Ａ，第２の冊子棚８０Ｂ及び第３の冊子棚８０Ｃの高さの変化に合わせて手前側から向こう側に向かうに従って高くなる。
最も手前の第１の冊子係止部８６Ａは、第１の冊子棚８０Ａに載置された教科書類を落下することがないように、第１の冊子棚８０Ａに載置された教科書類の高さ方向における略々中央に位置している。
中間の第２の冊子係止部８６Ｂは、第２の冊子棚８０Ｂに載置された教科書類を落下することがないように、第２の冊子棚８０Ｂに載置された教科書類の高さ方向における略々中央に位置している。
また、第２の冊子係止部８６Ｂは、第１の冊子棚８０Ａに載置された教科書類を持たせ掛ける機能をも備える。
最も向こう側の第３の冊子係止部８６Ｃは、第３の冊子棚８０Ｃに載置された教科書類を落下することがないように、第３の冊子棚８０Ｃに載置された教科書類の高さ方向における略々中央に位置している。
また、第３の冊子係止部８６Ｃは、第２の冊子棚８０Ｂに載置された教科書類を持たせ掛ける機能をも備える。
【００５２】
第１の冊子棚８０Ａの冊子載置部８２は、第２側板１４と接合する右端縁の手前側に雌螺子孔８２ａ$_1$が穿設され、且つ向こう側にダボ８２ｂ$_1$が突設されているとともに、中板１６と接合する左端縁の手前側に雌螺子孔８２ａ$_2$が穿設され、且つ向こう側にダボ８２ｂ$_2$が突設されている（図６及び図７図示）。
第２の冊子棚８０Ｂの冊子載置部８２及び第３の冊子棚８０Ｃの冊子載置部８２は、第２側板１４と接合する右端縁の手前側にダボ８２ｃ$_1$が突設され且つ向こう側にダボ８２ｄ$_1$が突設されているとともに、中板１６と接合する左端縁の手前側にダボ８２ｃ$_2$が突設され且つ向こう側にダボ８２ｄ$_2$が突設されている（図６及び図７図示）。
第１の冊子棚８０Ａの冊子受け部８４は、第２側板１４と接合する右端縁の中央にダボ８４ｅ$_1$が突設されるとともに、中板１６と接合する左端縁の中央にダボ８４ｅ$_2$が突設されている（図６及び図７図示）。
第２の冊子棚８０Ｂの冊子受け部８４及び第３の冊子棚８０Ｃの冊子受け部８４は、第２側板１４と接合する右端縁の中央にダボ８４ｅ$_3$が突設されるとともに、中板１６と接合する左端縁の中央にダボ８４ｅ$_4$が突設されている（図６及び図７図示）。
【００５３】
冊子係止部８６は、第２側板１４の冊子係止部孔８６０Ａ，冊子係止部孔８６０Ｂ及び冊子係止部孔８６０Ｃに嵌合する右端縁に雌螺子孔８６ａが穿設され、且つ中板１６の冊子係止部孔８６０Ａ，冊子係止部孔８６０Ｂ及び冊子係止部孔８６０Ｃに嵌合する左端縁に雌螺子孔８６ｂが穿設されてもよい（図６図示）。
【００５４】
第１の冊子棚８０Ａは、その冊子載置部８２の右端に形成された雌螺子孔８２ａ$_1$に、第２側板１４の外側面（中板１６と対向する面とは反対側の面）より、ボルト９５０を差し込んで雌螺子孔８２ａ$_1$に螺合させ、第２側板１４の主面に直交させて、第２側板１４に水平に固定され垂設されるとともに、ダボ８２ｅ$_1$及びダボ８２ｂ$_1$を第２側板１４の

外側面（中板１６と対向する面とは反対側の面）に形成された第３ダボ穴８２０に嵌合させ、第２側板１４の主面に直交させて、第２側板１４に水平に固定され垂設される。

第２の冊子棚８０Ｂ及び第３の冊子棚８０Ｃは、第２の冊子棚８０Ｂ及び第３の冊子棚８０Ｃの右端縁を第２側板１４の内側面（中板１６と対向する面）に接合させ、第２側板１４の内側面に形成された第４ダボ穴８２２及び第５ダボ穴８２４に、ダボ$８２ｃ_{1}$及びダボ$８２ｄ_{1}$並びにダボ$８２ｅ_{3}$を嵌入させ、第２側板１４の主面に直交させて、第２側板１４に水平に固定され垂設される。

【００５５】

第１の冊子棚８０Ａは、その冊子載置部８２の左端に形成された雌螺子孔$８２ａ_{2}$に、中板１６の外側面（第２側板１４と対向する面とは反対側の面）より、ボルト９５２を差し込んで雌螺子孔$８２ａ_{2}$に螺合させて、中板１６に固定されるとともに、ダボ$８２ｅ_{2}$及びダボ$８２ｂ_{2}$を中板１６の外側面（第２側板１４と対向する面とは反対側の面）に形成された第６ダボ穴８３０に嵌合させて、中板１６に固定される。

第２の冊子棚８０Ｂ及び第３の冊子棚８０Ｃは、第２の冊子棚８０Ｂ及び第３の冊子棚８０Ｃの左端縁を中板１６の内側面（第２側板１４と対向する面）に接合させ、中板１６の内側面に形成された第７ダボ穴８３２及び第８ダボ穴８３４に、ダボ$８２ｃ_{2}$及びダボ$８２ｄ_{2}$並びにダボ$８２ｅ_{4}$を嵌入させて、中板１６に固定される。

【００５６】

冊子係止部８６は、第１の冊子係止部８６Ａ，第２の冊子係止部８６Ｂ及び第３の冊子係止部８６Ｃの右端縁を、第２側板１４の内側面（中板１６と対向する面）に形成された冊子係止部孔８６０Ａ，冊子係止部孔８６０Ｂ及び冊子係止部孔８６０Ｃに嵌合させ、その軸心を第２側板１４の主面に直交させて、水平に固定される。

更に、冊子係止部８６は、第１の冊子係止部８６Ａ，第２の冊子係止部８６Ｂ及び第３の冊子係止部８６Ｃの左端縁を、中板１６の内側面（第２側板１４と対向する面）に形成された冊子係止部孔８６２Ａ，冊子係止部孔８６２Ｂ及び冊子係止部孔８６２Ｃに嵌合させ、その軸心を中板１６の主面に直交させて、水平に固定される。

第１の冊子係止部８６Ａは、その右端縁を第２側板１４の冊子係止部孔８６０Ａに、その左端縁を中板１６の冊子係止部孔８６２Ａに、それぞれ固定される。

第２の冊子係止部８６Ｂは、その右端縁を第２側板１４の冊子係止部孔８６０Ｂに、その左端縁を中板１６の冊子係止部孔８６２Ｂに、それぞれ固定される。

第３の冊子係止部８６Ｃは、その右端縁を第２側板１４の冊子係止部孔８６０Ｃに、その左端縁を中板１６の冊子係止部孔８６２Ｃに、それぞれ固定される。

冊子係止部８６は、第１の冊子係止部８６Ａ，第２の冊子係止部８６Ｂ及び第３の冊子係止部８６Ｃの右端縁に形成された雌螺子孔８６ａに、第２側板１４の外側面（中板１６と対向する面とは反対側の面）より、ボルト（図６図示ボルト９５４，ボルト９５６）を差し込んで雌螺子孔８６ａに螺合させて、第２側板１４に固定してもよい。

冊子係止部８６は、第１の冊子係止部８６Ａ，第２の冊子係止部８６Ｂ及び第３の冊子係止部８６Ｃの左端縁に形成された雌螺子孔８６ｂに、中板１６の外側面（第２側板１４と対向する面とは反対側の面）より、ボルト（図６図示ボルト９５４，ボルト９５６）を差し込んで雌螺子孔８６ｂに螺合させて、中板１６に固定してもよい。

【００５７】

棚板１１２は、平面視方形板状体で構成されており、その主面を第２側板１４及び中板１６の主面と直交させて、第２側板１４と中板１６との間に架設される。

棚板１１２は、第２側板１４の内表面（中板１６との対向面）及び中板１６の内表面（第２側板１４との対向面）に突設された第３ダボ片８５０の上に嵌め込み固定するための手前側のダボ用凹部８５２ａ及び向こう側のダボ用凹部８５２ｂが穿設されている（図４，図１７及び図１８参照）。

手前側のダボ用凹部８５２ａ及び向こう側のダボ用凹部８５２ｂは、棚板１１２における下面であって、第２側板１４と中板１６との間に架け渡されたときに接合する右側端縁及び左側端縁において、該接合する右側端縁及び左側端縁のそれぞれに手前側と向こう側

との２箇所に分かれて設けられている。
第２側板１４の内側面に突設される、第３ダボ片８５０は、着脱自在に第２側板１４に固定されるように、第２側板１４のダボ穴８５４ａ及びダボ穴８５４ｂに嵌合されて固定される。
中板１６の内側面に突設される、第３ダボ片８５０は、着脱自在に中板１６に固定されるように、中板１６の手前側のダボ穴８５６ａ及び向こう側のダボ穴８５６ｂに嵌合されて固定される。
第２側板１４のダボ穴８５４ａ及びダボ穴８５４ｂと中板１６のダボ穴８５６ａ及びダボ穴８５６ｂとは、同じ高さに設けられ、手前側のダボ穴８５４ａ及びダボ穴８５６ａと向こう側のダボ穴８５４ｂ及びダボ穴８５６ｂとは水平に設けられている。
棚板１１２は、図２０において示すように、第１ランドセル保管部３０の下方において、背板２０の手前であって第１側板１２と中板１６との間に、水平に架設してもよい。そのときは、第２ランドセル保管部３２は、物品収納空間部３８に変わる。
棚板１１２は、中板１６の内表面（第２側板１４との対向面）及び第２側板１４の内表面（中板１６との対向面）に突設された第３ダボ片８５０の上に、手前側のダボ用凹部８５２ａ及び向こう側のダボ用凹部８５２ｂを嵌め込み固定されている（図４及び図１８参照）。
ダボ穴８５４ａ，ダボ穴８５４ｂ，ダボ穴８５６ａ及びダボ穴８５６ｂは、棚板１１２を第２側板１４と中板１６との間に架け渡されたときに、３段階に高さを変えるように、上下方向に３箇所に分かれて設けられている。
なお、第１側板１２の内表面（中板１６との対向面）及び中板１６の内表面（第１側板１２との対向面）にも、第３ダボ片８５０を嵌合するためのダボ穴８５４ａ及びダボ穴８５４ｂ並びにダボ穴８５６ａ及びダボ穴８５６ｂを形成して、棚板１１２を第１側板１２と中板１６との間に固定するようにしてもよい。
【００５８】
ランドセル１の第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂが第１突出体５０及び第２突出体５２に掛け渡されて第１ランドセル保管部３０に収納されたランドセル１の底部６ｅを支持する位置において、第１支持体６０は、第１側板１２と中板１６との間に設けられる。
而して、第１支持体６０で支持されたランドセル１の重みは、第１突出体５０及び第２突出体５２に掛け渡された第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４に掛かることなく、第１支持体６０によって支持される。
【００５９】
衣類等保管部３４を構成する収納箱９０は、中板１６を構成する第１の冊子棚８０Ａの冊子載置部８２の下方において、抜き差し自在に第２側板１４を中板１６との間に架け渡された収納箱支持板１１０の上に設けられている（図３，図４及び図１８参照）。
収納箱９０は、正面視方形の箱前面板９２と、箱前面板９２と対向して向こう側に設けられた正面視方形の箱後面板９６と、平行な箱前面板９２と箱後面板９６との間に架け渡された右側の箱側面板９４及び左側の箱側面板９４と、箱前面板９２，箱後面板９６及び箱側面板９４によって囲繞された平面視方形の箱底面板９８とを備える。
収納箱９０は、箱前面板９２の前に、コルク板１００を付設され、ピン等を突き差して、時間割表やカレンダー等の紙片等をとめることができる。
【００６０】
収納箱支持板１１０は、平面視方形板状体で構成されており、第１側板１２と中板１６との間に水平に架け渡され、棚板１１２及び底板１８と平行に架け渡されている。
収納箱支持板１１０は、第２側板１４の内表面（中板１６との対向面）に接合される右端縁に、ダボ１１０ｂ$_1$が突設され、且つ雌螺子孔１１０ａ$_1$が穿設されている。
収納箱支持板１１０は、中板１６の内表面（第２側板１４との対向面）に接合される左端縁に、ダボ１１０ｂ$_2$が突設され、且つ雌螺子孔１１０ａ$_2$が穿設されている。
【００６１】

収納箱支持板１１０は、冊子棚８０の下方において、背板２０の手前であって第２側板１４と中板１６との間に、その主面を第２側板１４及び中板１６の主面と直交させて、水平に架設される。

第２側板１４は、第２側板１４の高さ方向における中央より若干下方において、手前側と向こう側とに水平に並んで、ダボ穴３９０及び雌螺子孔３９２を穿設されている。

中板１６は、中板１６の高さ方向における中央より若干下方において、手前側と向こう側とに水平に並んで、ダボ穴３９４及び雌螺子孔３９６を穿設されている。

収納箱支持板１１０は、その右端縁を第２側板１４の内表面（中板１６との対向面）に接し合わせ、ダボ１１０ｂ$_1$をダボ穴３９０に嵌合させる。

そして、収納箱支持板１１０は、雌螺子孔１１０ａ$_1$と第２側板１４の雌螺子孔３９２とを合わせ、ボルト９６０を雌螺子孔１１０ａ$_1$と雌螺子孔３９２とに挿通し、螺合させて、第２側板１４に固定される。

収納箱支持板１１０は、その左端縁を中板１６の内表面（第２側板１４との対向面）に接し合わせ、ダボ１１０ｂ$_2$をダボ穴３９４に嵌合させる。

そして、収納箱支持板１１０は、雌螺子孔１１０ａ$_2$と中板１６の雌螺子孔３９６とを合わせ、ボルト９６２を雌螺子孔１１０ａ$_2$と雌螺子孔３９６とに挿通し、螺合させて、中板１６に固定される。

【００６２】

第１の冊子棚８０Ａの冊子載置部８２の下部に、収納箱９０を手前に引いたときに、収納箱支持板１１０から落下しないように、収納箱９０の移動を停止させるための中間止めビス１０２が突設されている。

収納箱９０の箱後面板９６は、収納箱９０を手前に引き出したときに、その上部の内側において、中間止めビス１０２に係止する。

【００６３】

収納箱９０を揺動自在に保持する収納箱支持板１１０の下方であって底板１８との間において、第２側板１４と中板１６との間に、棚板部２６を構成する棚板１１２が、架け渡されている。

【００６４】

背板２０の向こう側には、物品収納空間部３８を構成する、正面視長方形板状の物品係止板１４０が、背板２０と平行して且つ底板１８と直交して、底板１８に垂設されている。

物品係止板１４０は、底板１８の向こう側端縁の上部において、第１側板１２の向こう側端縁の内側と第２側板１４の向こう側端縁の内側との間に架け渡され、底板１８から起立している。

そして、並列した物品係止板１４０と背板２０との間には、空間が設けられており、第１側板１２及び第２側板１４と物品係止板１４０及び背板２０との間に形成された空間に、ランドセル１以外の小学生が使用する楽器等を保管することができる。

【００６５】

物品係止板１４０は、第１側板１２に接し合わされる左側端縁に、ダボ１４２ａ$_1$と雌螺子孔１４２ｂ$_1$が設けられている。

物品係止板１４０は、第２側板１４に接し合わされる右側端縁に、ダボ１４２ａ$_2$と雌螺子孔１４２ｂ$_2$が設けられている。

そして、物品係止板１４０は、第１側板１２に穿設されたダボ穴４００に左端縁のダボ１４２ａ$_1$を嵌入させ且つ第１側板１２に穿設された雌螺子孔４０２に雌螺子孔１４２ｂ$_1$を合わせて、ボルト９６６を螺合し、その主面を第１側板１２の主面に直交させて、第１側板１２に固定され垂設される（図１２図示）。

そして、物品係止板１４０は、第２側板１４に穿設されたダボ穴４０４に右端縁のダボ１４２ａ$_1$を嵌入させ且つ第２側板１４に穿設された雌螺子孔４０６に雌螺子孔１４２ｂ$_1$を合わせて、ボルト９６８を螺合し、その主面を第２側板１４の主面に直交させて、第２側板１４に固定され垂設される（図８図示）。

物品係止板１４０は、底板１８に穿設された雌螺子孔４０８に下端縁のダボ１４２ｃを嵌入させ、その主面を底板１８の主面に直交させて、底板１８の上面より起立して固定され垂設される（図６，図７及び図８図示）。

【００６６】

第１ランドセル保管部３０及び第２ランドセル保管部３２にランドセル１を保管する必要がなくなったときに、第１ランドセル保管部３０及び第２ランドセル保管部３２の空間を衣類等保管部３４に変えるために、第１ランドセル保管部３０の第１突出体５０及び第２突出体５２並びに第２ランドセル保管部３２の第３突出体７０及び第４突出体７２を第１側板１２及び中板１６から取り去る。

そして、衣類等保管部３４を構成するために、図２１ないし図２３において示すように、第１側板１２の内側面（中板１６との対向面）に雌螺子孔７１０が設けられ、且つ中板１６の内側面（第１側板１２との対向面）に、雌螺子孔７１２が設けられている。衣類等保管部３４を構成するために、ハンガーを係止する引っ掛け体１３０が、その左端の雌螺子孔１３２ａを第１側板１２の雌螺子孔７１０に接し合わせ且つ右端の雌螺子孔１３２ｂを、中板１６の雌螺子孔７１２に接し合わせる。

そして、ハンガーを係止する引っ掛け体１３０は、引っ掛け体１３０の左端の雌螺子孔１３２ａと第１側板１２の雌螺子孔７１０とに（第１フック２８Ａの）ボルト９７０を挿入し螺合し、その軸心を第１側板１２の主面に直交させて、水平に固定される。引っ掛け体１３０は、引っ掛け体１３０の右端の雌螺子孔１３２ｂと中板１６の雌螺子孔７１２とにボルト９７２を挿入し螺合し、その軸心を中板１６の主面に直交させて、水平に固定される。

引っ掛け体１３０は、第１側板１２と中板１６との間に水平に架け渡される。

第１側板１２の雌螺子孔７１０と中板１６の雌螺子孔７１２とは、第１側板１２及び中板１６の上方において、同じ高さ位置に設けられる。

従って、比較的背丈の長いコート等を掛けたハンガーを引っ掛け体１３０に係止させて、衣類等を保管することができる。

【００６７】

フック部２８は、物品係止部４０を構成するものである。フック部２８は、３種のフックがあり、その一つは、第３突出体７０及び引っ掛け体１３０を第１側板１２及び中板１６に固定するための固定部材を兼ねるタイプの第１フック２８Ａである。

あとの２つは、第１側板１２，第２側板１４及び中板１６に固定されて、物品係止部４０を構成するものであって、ボルトを突設されたタイプの第２フック２８Ｂと、雌螺子孔２８ｃを穿設されたタイプの第３フック２８Ｃとである。

【００６８】

第１フック２８Ａは、円柱状の引っ掛け部２８ａと引っ掛け部２８ａの自由端たる先端に設けられた膨出部２８ｂとを備え、引っ掛け部２８ａの膨出部２８ｂが形成された端と反対の固定側端部に、ボルト９７０が固定されている（図１５図示）。

第２フック２８Ｂは、円柱状の引っ掛け部２８ａと引っ掛け部２８ａの自由端たる先端に設けられた膨出部２８ｂとを備え、引っ掛け部２８ａの膨出部２８ｂが形成された端と反対の固定側端部に、ボルト９７６が突設されている（図１５図示）。

第３フック２８Ｃは、円柱状の引っ掛け部２８ａと引っ掛け部２８ａの自由端たる先端に設けられた膨出部２８ｂとを備え、引っ掛け部２８ａの膨出部２８ｂが形成された端と反対の固定側端部に、雌螺子孔２８ｃが穿設されている（図１５図示）。

【００６９】

第１フック２８Ａは、第３突出体７０を第１側板１２に固定するために、第１側板１２の外側面よりボルト９７０を雌螺子孔７６に貫通し且つ第１側板１２の内側面に接し合わされた第３突出体７０の雌螺子孔７０ｄに螺合し、その軸心を第１側板１２の主面に直交させ、第１側板１２の外側面に、水平に固定される（図１５参照）。

第２フック２８Ｂは、第１側板１２の雌螺子孔７３０及び第２側板１４の雌螺子孔７３２にボルト９７４を螺合し、その軸心を第１側板１２及び第２側板１４の主面に直交させ

、第１側板１２及び第２側板１４の外側面に、水平に固定される（図１３参照）。
第３フック２８Ｃは、第１側板１２の雌螺子孔７３４に接し合わせ、第１側板１２の内側面より貫通されたボルト９７６を雌螺子孔２８ｃに螺合し、その軸心を第１側板１２の主面に直交させ、第１側板１２の外側面に、水平に固定される（図１５参照）。
【００７０】
次に、収納家具１０の組み立て手順について説明する。
まず、中板１６の下端を底板１８の上面に接し合わせ、中板１６を起立させ固定して、底板１８の中央において、中板１６を底板１８の幅方向にのびるように立設する（図６参照）。
次に、冊子棚８０及び収納箱支持板１１０の左端縁を、中板１６の内側面に接し合わせ、中板１６に固定して、中板１６の表面に冊子棚８０及び収納箱支持板１１０を垂設する（図６及び図７参照）。
次に、物品係止板１４０の下端面を底板１８の向こう側端縁の上面に接し合わせ、物品係止板１４０を起立させ、物品係止板１４０を底板１８の長さ方向にのびるように底板１８に固定して、底板１８の表面に物品係止板１４０を垂設する（図７及び図８参照）。
次に、第２側板１４の左端面を、冊子棚８０及び収納箱支持板１１０の右端縁に接し合わせ、直交させ固定するとともに、底板１８の上面に接し合わせ、第２側板１４を起立させ底板１８の右端縁において、固定して、第２側板１４を底板１８の幅方向にのびるように立設する（図７及び図８参照）。
次に、背板２０を、第１側板１２，第２側板１４及び中板１６に架け渡して、背板２０の向こう側端縁との間に一定の間隔をあけて、背板２０を第１側板１２，第２側板１４及び中板１６に固定する（図１０，図１１及び図１２参照）。
第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４の右端縁を第２側板１４の内側面に接し合わせ、第２側板１４と直交させ、第２側板１４の表面に第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４を垂設させる（図１０参照）。
第１背面板１２６の上端縁を第１桟材１２０の下端縁に固定し且つ第１背面板１２６の下端縁を、第２桟材１２２の上端縁に固定して、第１背面板１２６を第１桟材１２０と第２桟材１２２との間に架け渡すとともに、第２背面板１２８の上端縁を第２桟材１２２の下端縁とに固定し且つ第２背面板１２８の下端縁を第３桟材１２４の上端縁に固定して、第２背面板１２８を第２桟材１２２と第３桟材１２４との間に架け渡す（図１１参照）。
第１側板１２の内側面を、第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４の左端縁に接し合わせ、第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４を第１側板１２に直交させ、第１側板１２の表面に第１桟材１２０，第２桟材１２２及び第３桟材１２４を垂設させる（図１２参照）。
次に、第１突出体５０及び第３突出体７０を第１側板１２と中板１６との内側面に、ボルト及び第１フック２８Ａで固定する（図１５及び図１６参照）。第３突出体７０及び第４突出体７２を第２側板１４と中板１６との内側面に、ボルトで固定する（図１６参照）。
第１突出体５０と第２突出体５２とは、同一の高さで向き合うように一直線状に並んで設けられ、第３突出体７０と第４突出体７２とは、同一の高さで向き合うように一直線状に並んで設けられる。
最後に、フック部２８を第１側板１２及び第２側板１４の外側に固定する（図１５参照）。
【００７１】
この発明は、前記実施の形態に限定されることなく、この発明の思想に基づき、種々変更することができる。例えば、次のような構成もこの発明に含まれる。
【００７２】
第１支持体６０は、板状体ではなく、例えば図２４ないし図２７に示すように、第１側板１２側と中板１６側とに分かれて形成された、平面視半円弧状支持台１５０ないし平面視方形状支持台といった断片であってもよい。また、支持台１５０は、第１側板１２の手

前側と向こう側及び中板１６の手前側と向こう側とに分かれて、第１側板１２側に前後一対と中板１６側に前後一対とを形成してもよい。

【００７３】

平面視方形状支持台１５０は、図２５に示すように、ランドセル１の鞄本体２の底部６ｅを載置するためのランドセル底部載置部１５２と、該ランドセル底部載置部１５２を補助するための補助部１５４とを備える。

ランドセル底部載置部１５２は、平面視半円弧状で、その弦部分を第１側板１２及び中板１６の内側面に接し合わせるように構成されており、弦部分にはダボ１５６が手前側と向こう側との２箇所に突設されている。

補助部１５４は、第１側板１２及び中板１６の内側面に接し合わされる面に向けて貫設された雌螺子孔１５８が穿設されている。

補助部１５４が接し合わされる第１側板１２及び中板１６は、雌螺子孔７００及び雌螺子孔７０２並びにダボ穴７０４及びダボ穴７０６が穿設されている。

一方の支持台１５０の補助部１５４は、図２６（Ａ）に示すように、雌螺子孔１５８を第１側板１２の雌螺子孔７００と接し合わせ且つダボ１５６を第１側板１２のダボ穴７０４に嵌合させる。更に、他方の支持台１５０の補助部１５４は、図２６（Ｂ）に示すように、雌螺子孔１５８を中板１６の雌螺子孔７０２と接し合わせ且つダボ１５６を中板１６のダボ穴７０６に嵌合させる。

そして、一方の支持台１５０は、補助部１５４の雌螺子孔１５８から挿通されて第１側板１２の雌螺子孔７００に貫通されたボルト９８０を螺合することによって、第１側板１２に固定され、他方の支持台１５０は、補助部１５４の雌螺子孔１５８から挿通されて中板１６の雌螺子孔７０２に貫通されたボルト９８２を螺合することによって、中板１６に固定される。

【００７４】

支持台１５０は、第２ランドセル保管部３２に保管されたランドセル１の底部６ｅを支持するために、第１側板１２の下側と中板１６の下側に設けられてもよい。

支持台１５０は、底板１８と適宜な間隔をおいて、底板１８の上面より上方であって、第２ランドセル保管部３２を構成する第３突出体７０及び第４突出体７２の下方に設けられる。

【００７５】

第１ランドセル保管部３０を構成する第１突出体５０及び第２突出体５２は、ランドセル１の第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂを引っ掛けるために、別の構成を備えてもよい。

例えば、図２８ないし図３０に示すように、前記突出体５５０は、鞄本体２に設けられた第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂ側に立設された立設体を構成する背板２０より突き出し設けられ、一対の第１背負い帯４ａと第２背負い帯４ｂとが向き合う内側より外側に向けて、突き出し設けられ、反対側に向けて突き出し設けられた突出体５５０は、一方の第１背負い帯４ａが一方の突出体５５０に支持され且つ他方の第２背負い帯４ｂが他方の突出体５５０に支持されてもよい。

【００７６】

具体的には、第１側板１２と中板１６との間の背板２０の内面に、突設体５５０を設けられる。

突出体５５０は、ランドセル１の一方の第１背負い帯４ａを引っ掛ける一方の引っ掛け部５５０ａ及び他方の第２背負い帯４ｂを引っ掛ける他方の引っ掛け部５５０ｂと、引っ掛け部５５０ａ及び引っ掛け部５５０ｂを背板２０の内面に固定するための固定柱状部５５０ｃとを備えている。

引っ掛け部５５０ａ及び引っ掛け部５５０ｂは、左右対称に、一枚の中央がくびれた円板ないしはハート状に連接されたものである。引っ掛け部５５０ａと引っ掛け部５５０ｂとは、円弧状面を備えており、ランドセル１の第１背負い帯４ａ及び第２背負い帯４ｂの内側面にやわらかく接するように形成されている。

固定柱状部５５０ｃは、引っ掛け部５５０ａを背板２０の内面と平行に固定するために、突出体５５０の背面に直交して、引っ掛け部５５０ａ及び引っ掛け部５５０ｂの背面と固定柱状部５５０ｃの前面とを固定されている。

固定柱状部５５０ｃは、向こう側端縁にダボ５５０ｄと雌螺子孔５５０ｅとが設けられており、ダボ５５０ｄを背板２０の内面の雌螺子孔７１０に嵌入させ、雌螺子孔５５０ｅを背板２０の内面の雌螺子孔７２０に合わせ、ボルト９９０を貫入されて、突出体５５０は背板２０に固定される。

而して、引っ掛け部５５０ａの左側からランドセル１の第１背負い帯４ａを内方に向けて引っ掛け且つ引っ掛け部５５０ａの右側からランドセル１の第２背負い帯４ｂを内方に向けて引っ掛けるための空間が、背板２０の前面と引っ掛け部５５０ａ及び引っ掛け部５５０ｂの向こう側との間に設けられる。

【符号の説明】

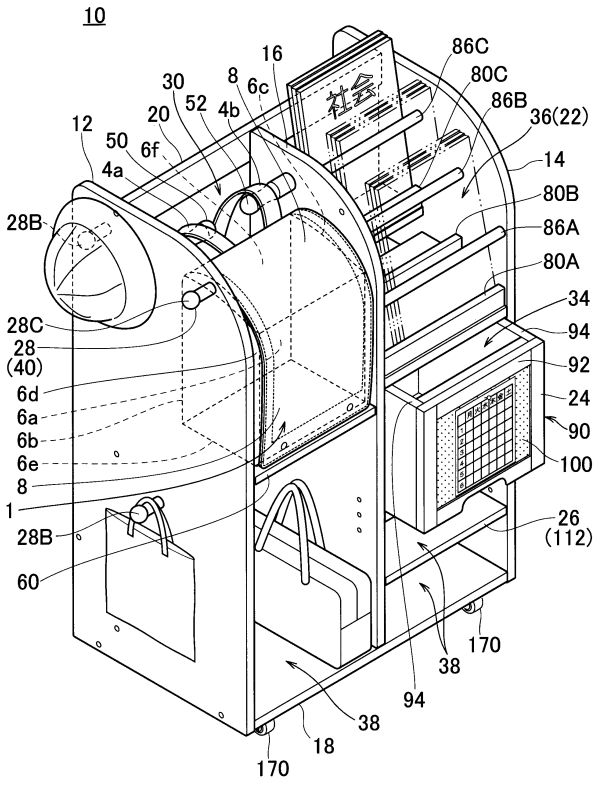
【００７７】

１　ランドセル
２　鞄本体
３ａ　第１連結体
３ｂ　第２連結体
４ａ　第１背負い帯
４ｂ　第２背負い帯
５ａ　第１連結環
５ｂ　第２連結環
６ａ　正面部
６ｂ　背面部
６ｃ　右側面部
６ｄ　左側面部
６ｅ　底部
６ｆ　開口部
７ａ　第１下帯
７ｂ　第２下帯
８　蓋片
１０　収納家具
１２　第１側板
１４　第２側板
１６　中板
１８　底板
２０　背板
２２　ブックスタンド部
２４　引き出し部
２６　棚板部
２８　フック部
２８Ａ　第１フック
２８Ｂ　第２フック
２８Ｃ　第３フック
２８ａ，５０ａ，５２ａ，７０ａ，７２ａ，５５０ａ，５５０ｂ　引っ掛け部
２８ｂ　膨出部
２８ｃ，５２ｄ，５４，７０ｄ，７２ｄ，７４，７６，$82a_1$，$82a_2$，８６ａ，８６ｂ，$110a_1$，$110a_2$，１３２ａ，１３２ｂ，$142b_1$，$142b_2$，１５８，２１２，２１４，２１８，２２２，２２４，２４２，２４４，２４８，２５２，２５４，２７２，２７４，２７６，２７８，２８０，３１２，３１４，３１８，３２０，３２４，３２６，３４２，３４６，３４８，３６２，３６６，３６８，３８０，３８２，３

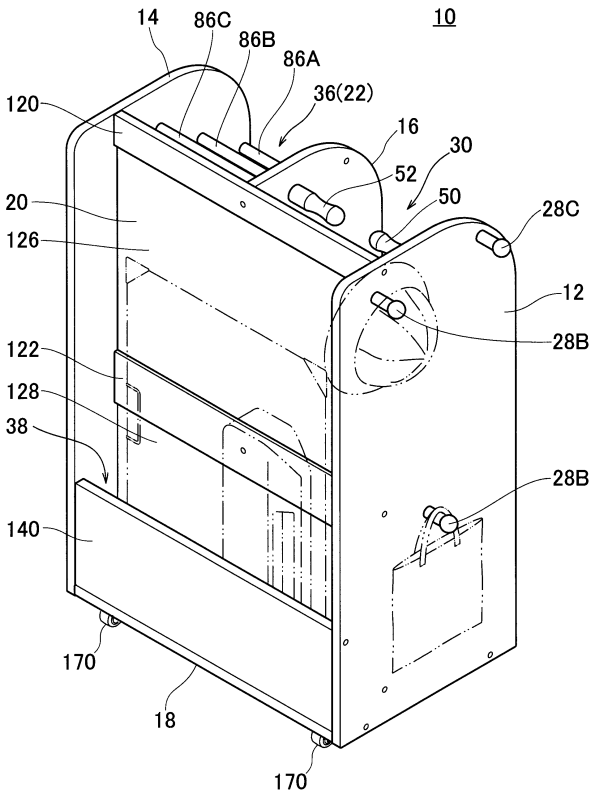
８４，３９２，３９６，４０２，４０６，４０８，５５０ｅ，７００，７０２，７１０，７１２，７２０，７３０，７３２，７３４，７３６　雌螺子孔
３０　第１ランドセル保管部
３２　第２ランドセル保管部
３４　衣類等保管部
３６　ランドセル収納物品保管部
３８　物品収納空間部
４０　物品係止部
５０　第１突出体
５０ｂ，５２ｂ，７０ｂ，７２ｂ　膨大部
５０ｃ，５２ｃ，７０ｃ，７２ｃ　固定円柱状部
５０ｄ，５８，７８　雄螺子棒
５２　第２突出体
５６，７６　貫挿孔
６０　第１支持体
６０ａ，６０ｂ　ダボ嵌入溝
６２　第２支持体
７０　第３突出体
７２　第４突出体
８０　冊子棚
８０Ａ　第１の冊子棚
８０Ｂ　第２の冊子棚
８０Ｃ　第３の冊子棚
８２　冊子載置部
８２ｂ$_1$，８２ｂ$_2$，８２ｃ$_1$，８２ｃ$_2$，８２ｄ$_1$，８２ｄ$_2$，８２ｅ$_1$，８２ｅ$_2$，８２ｅ$_3$，８２ｅ$_4$，８４ｅ$_1$，８４ｅ$_2$，８４ｅ$_3$，８４ｅ$_4$，１１０ｂ$_1$，１１０ｂ$_2$，１４２ａ$_1$，１４２ａ$_2$，１４２ｃ，１５６，２７０，３００，３１６，３４０，３４４，３５０，３６０，３６４，３７０，５５０ｄ　ダボ
８４　冊子受け部
８６　冊子係止部
８６Ａ　第１の冊子係止部
８６Ｂ　第２の冊子係止部
８６Ｃ　第３の冊子係止部
９０　収納箱
９２　箱前面板
９４　箱側面板
９６　箱後面板
９８　箱底面板
１００　コルク板
１０２　中間止めビス
１１０　収納箱支持板
１１２　棚板
１２０　第１桟材
１２０ａ，１２２ａ，１２２ｂ，１２４ａ　嵌入溝
１２２　第２桟材
１２４　第３桟材
１２６　第１背面板
１２８　第２背面板
１３０　引っ掛け体
１４０　物品係止板

１５０　支持台
１５２　ランドセル底部載置部
１５４　補助部
１９０　キャスタ
２１０，２１６，２２０，２２６，２４０，２４６，２５０，２５６，３２２，３９０，３９４，４００，４０４，７０４，７０６，８５４ａ，８５４ｂ，８５６ａ，８５６ｂ　ダボ穴
５５０　突出体
５５０ｃ　固定柱状部
８１０　第１ダボ穴
８１２　第２ダボ穴
８１４　第１ダボ片
８１６　第２ダボ片
８２０　第３ダボ穴
８２２　第４ダボ穴
８２４　第５ダボ穴
８３０　第６ダボ穴
８３２　第７ダボ穴
８３４　第８ダボ穴
８５０　第３ダボ片
８５２ａ，８５２ｂ　ダボ用凹部
８６０Ａ，８６０Ｂ，８６０Ｃ，８６２Ａ，８６２Ｂ，８６２Ｃ　冊子係止部孔
９１０，９１２，９１４，９１６，９１８，９２０，９２２，９２４，９２６，９２８，９３０，９３２，９３４，９３６，９３８，９５０，９５２，９５４，９５６，９６０，９６２，９７０，９７２，９７４，９７６，９８０，９８２，９９０　ボルト

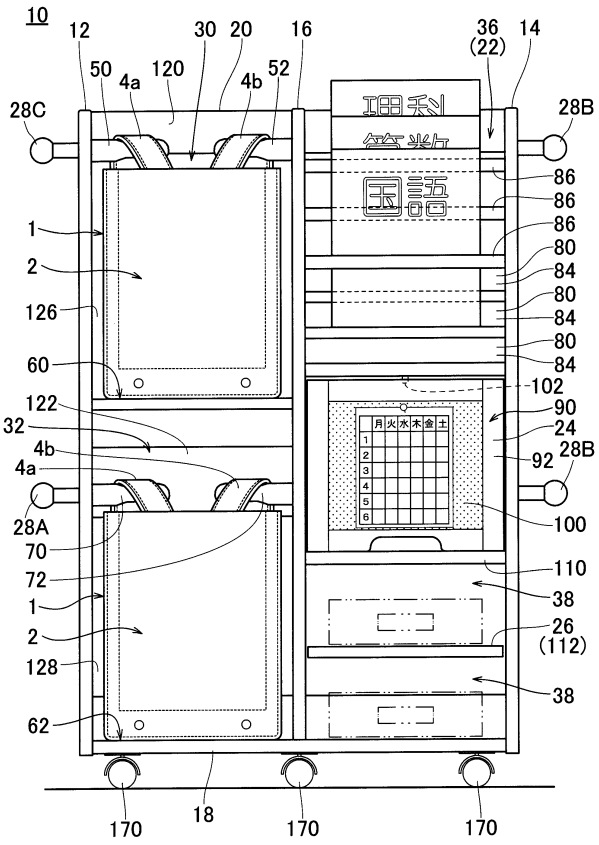
【図１】



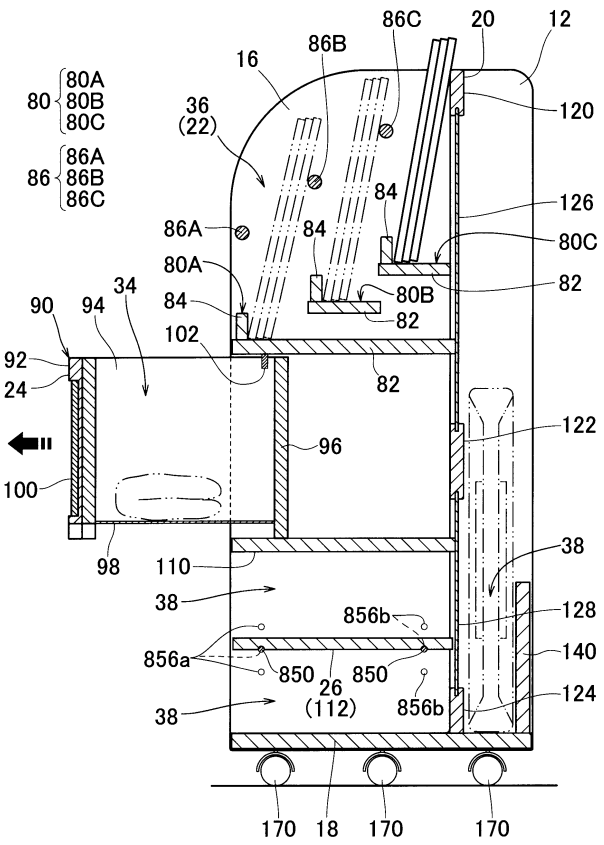
【図２】



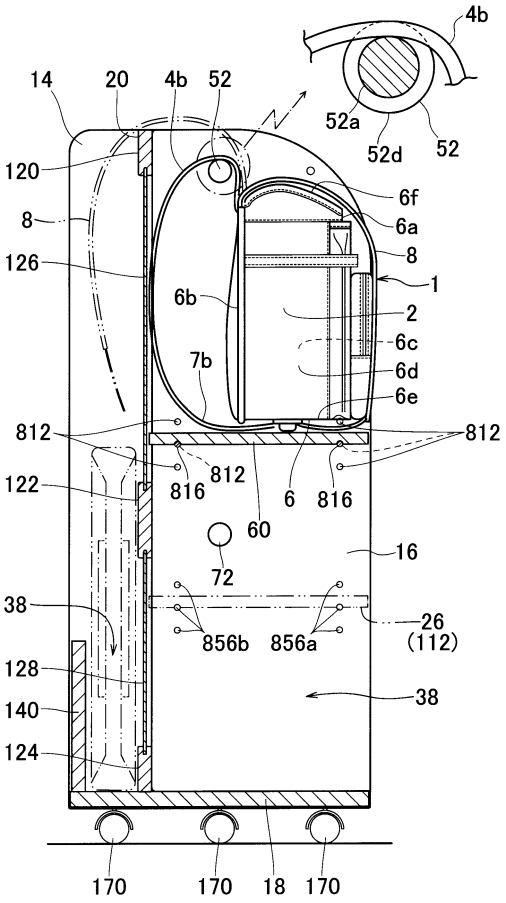
【図３】


10
12
30
20
16
36
(22)
14
50
4a
120
4b
52
28C
28B
1
2
126
60
122
32
4b
4a
28A
70
72
1
2
128
62
86
80
84
102
90
24
92
100
110
38
26
(112)
170
18

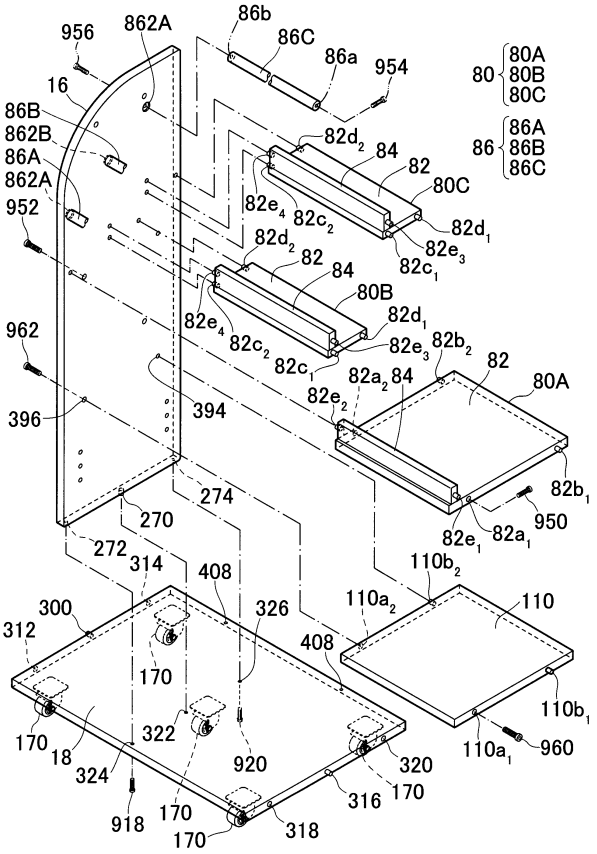
【図４】


86C
20
12
86B
16
80
80A
80B
80C
36
(22)
86
86A
86B
86C
84
126
120
80C
82
80B
34
90
94
102
92
24
96
122
100
98
110
38
856b
128
856a
850
26
(112)
140
124

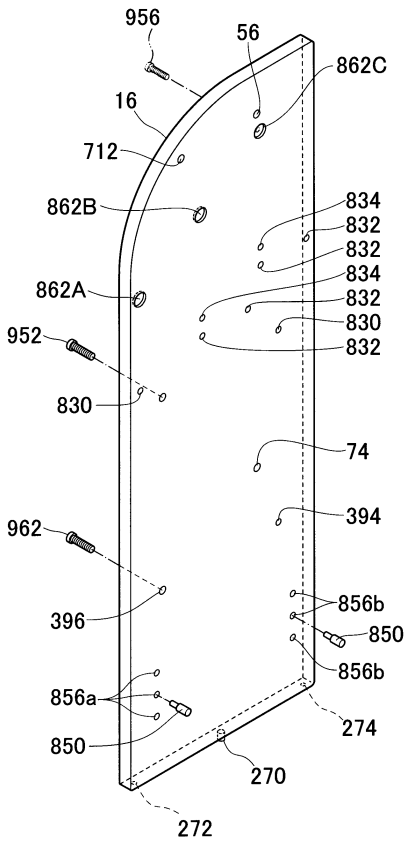
【図５】


4b
14
20
4b
52
52a
52d
52
120
6f
6a
8
126
1
6b
2
6c
7b
6d
6e
812
816
812
122
6
816
60
72
16
38
26
(112)
856b
856a
128
38
140
124
170
170
18
170

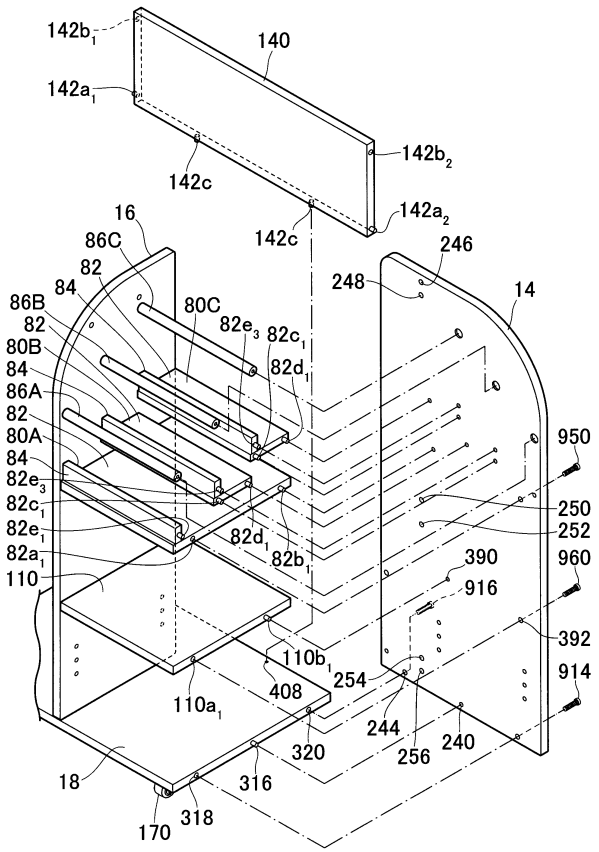
【図６Ａ】


956
862A
86b
86C
86a
954
16
86B
862B
86A
862A
952
962
396
394
80
80A
80B
80C
86
86A
86B
86C
82d2
84
82
80C
82e4
82c2
82d1
82e3
82c1
80B
82b2
82a2
82e2
80A
82b1
950
82e1
82a1
274
270
272
314
408
110b2
110a2
110
300
326
312
170
322
920
320
316
318
324
18
110b1
110a1
960
918

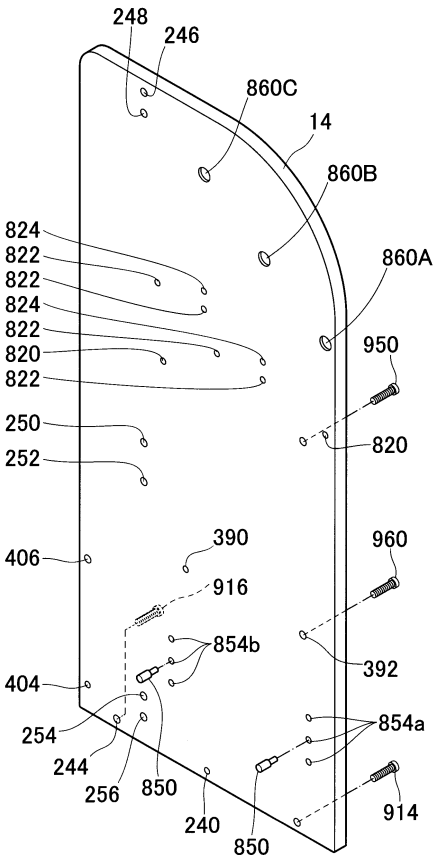
【図６Ｂ】



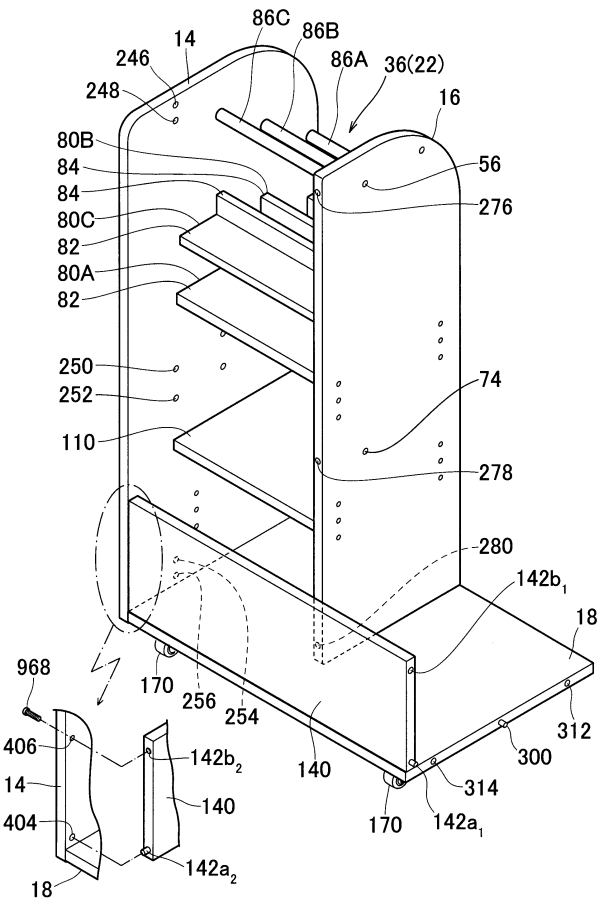
【図７Ａ】



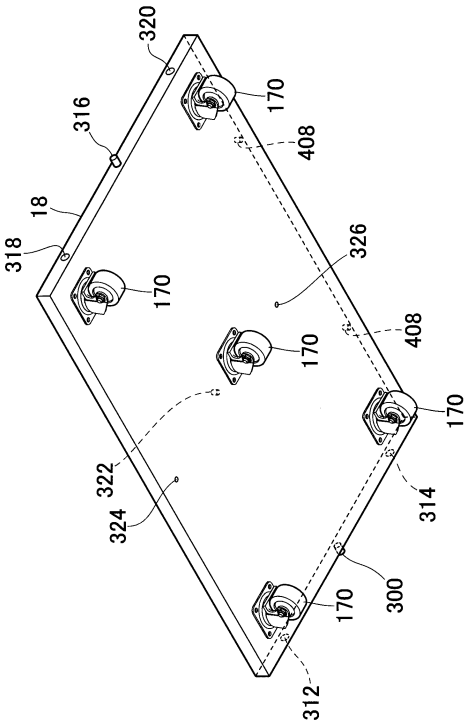
【図７Ｂ】



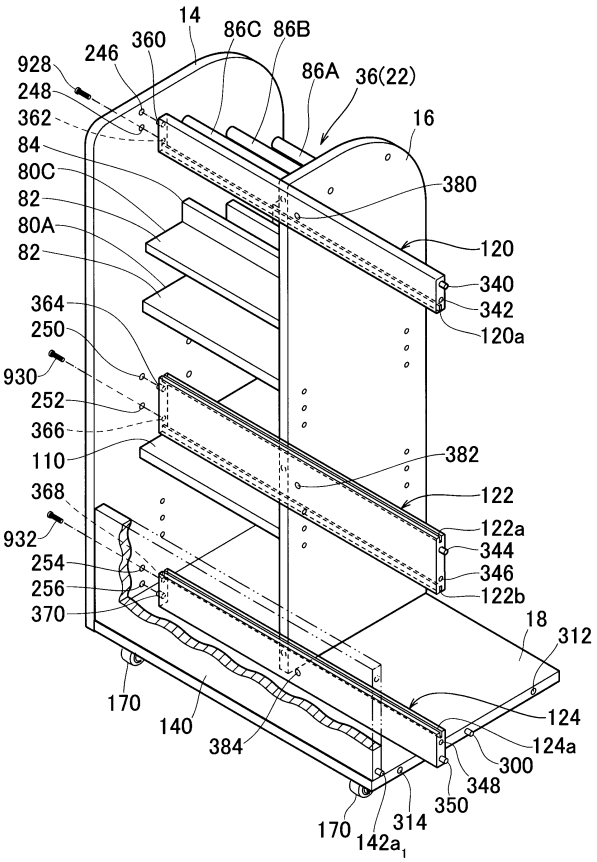
【図８】



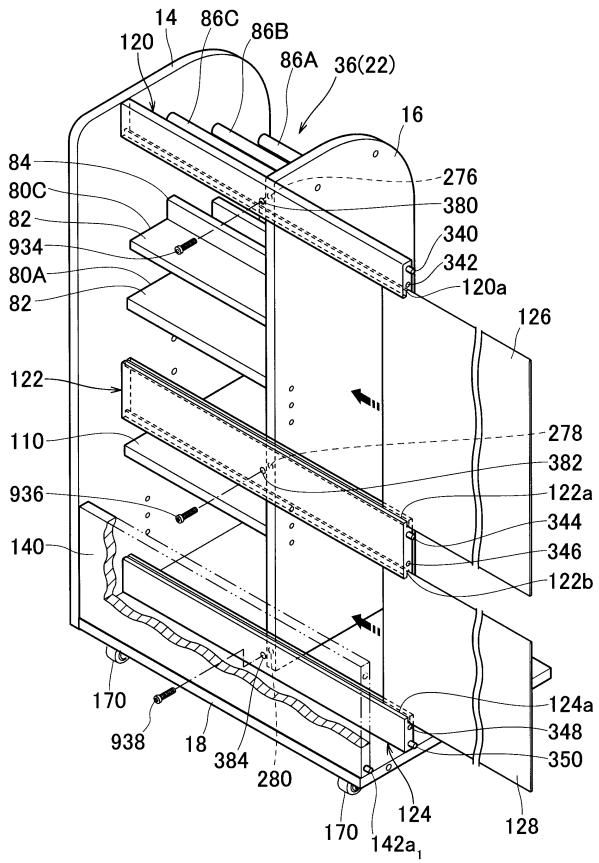
【図９】



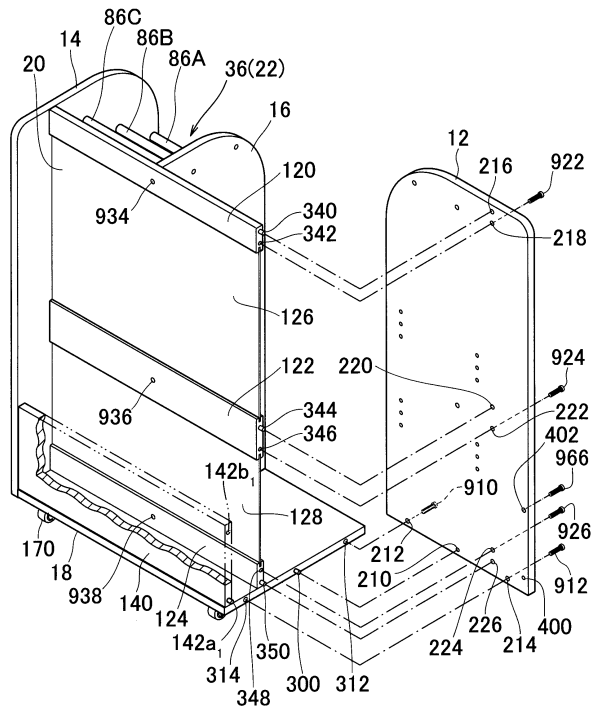
【図１０】



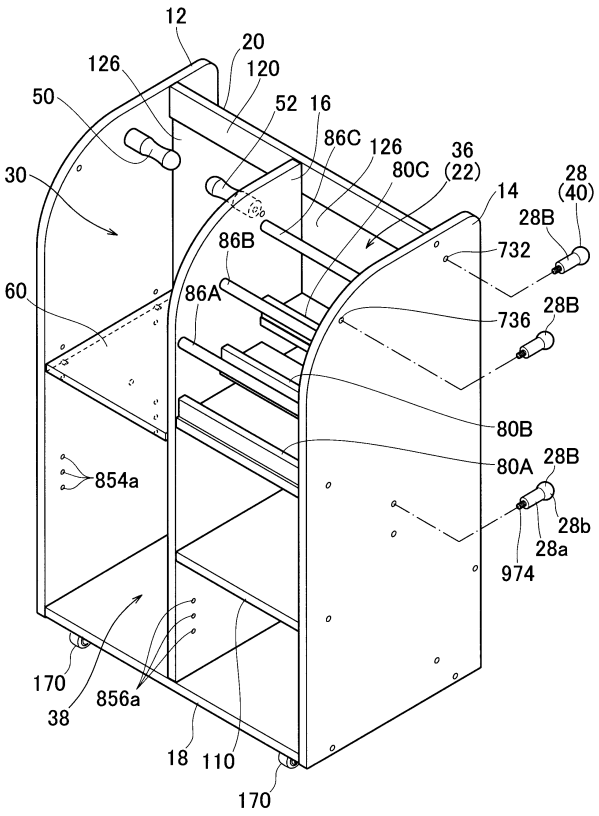
【図１１】



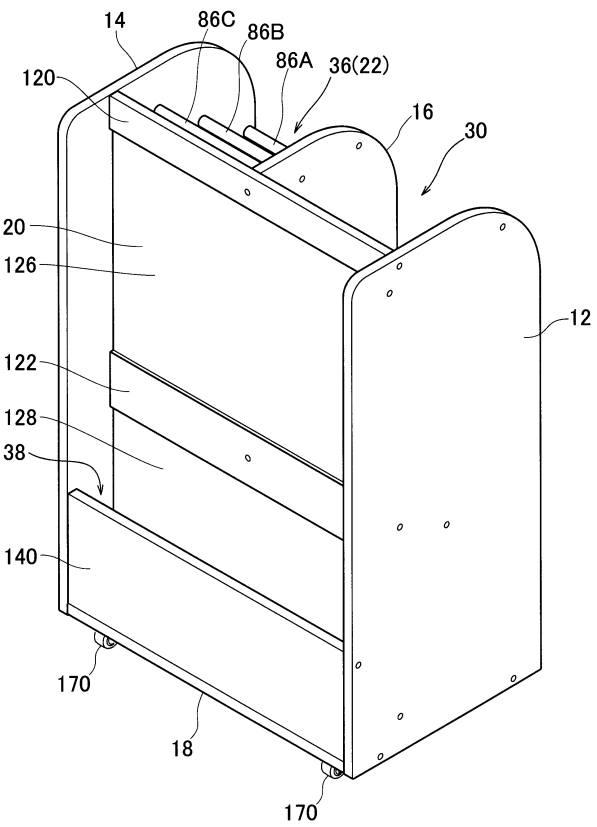
【図１２】



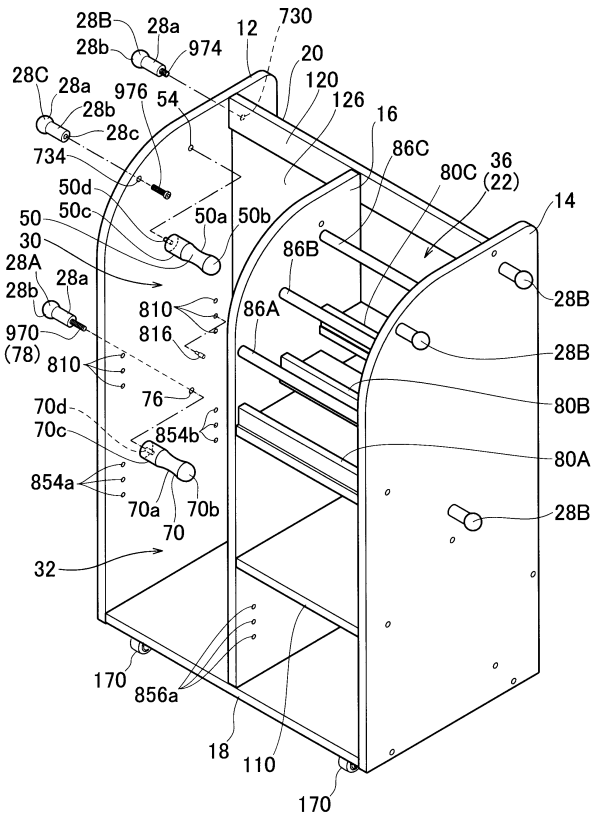
【図１３】



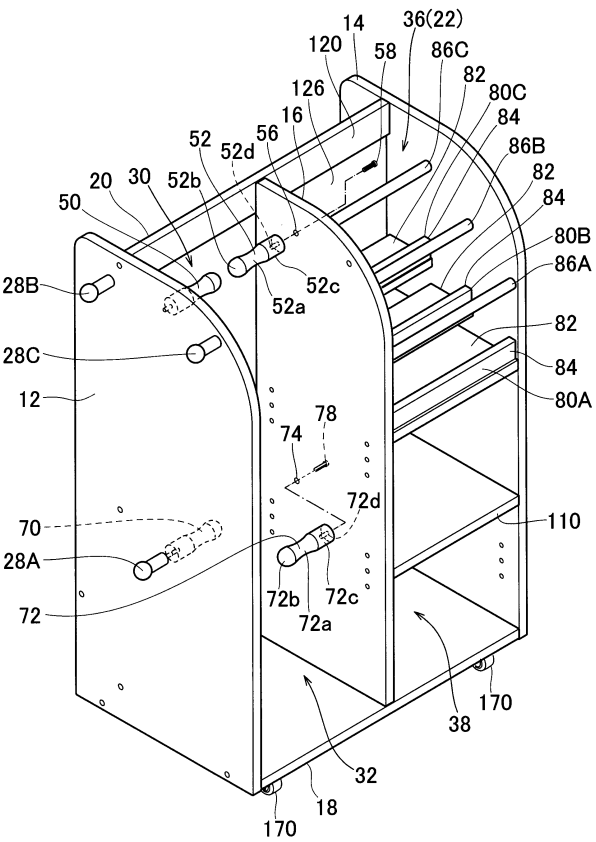
【図１４】



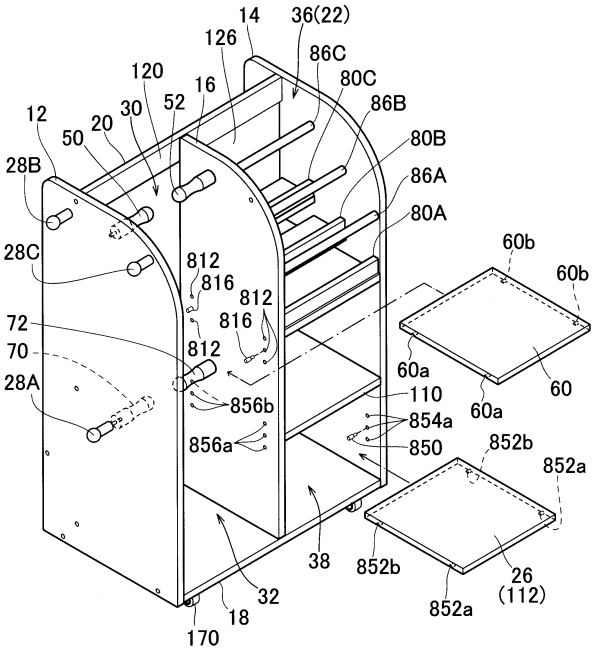
【図１５】



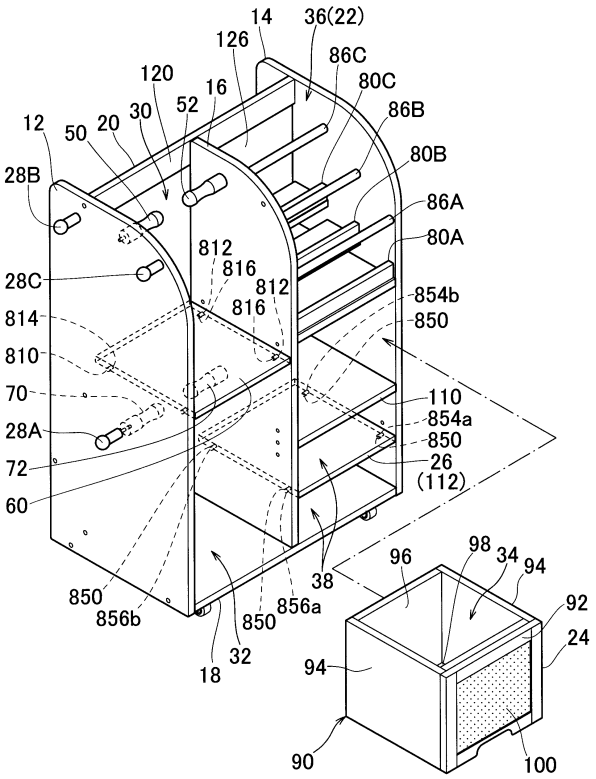
【図１６】



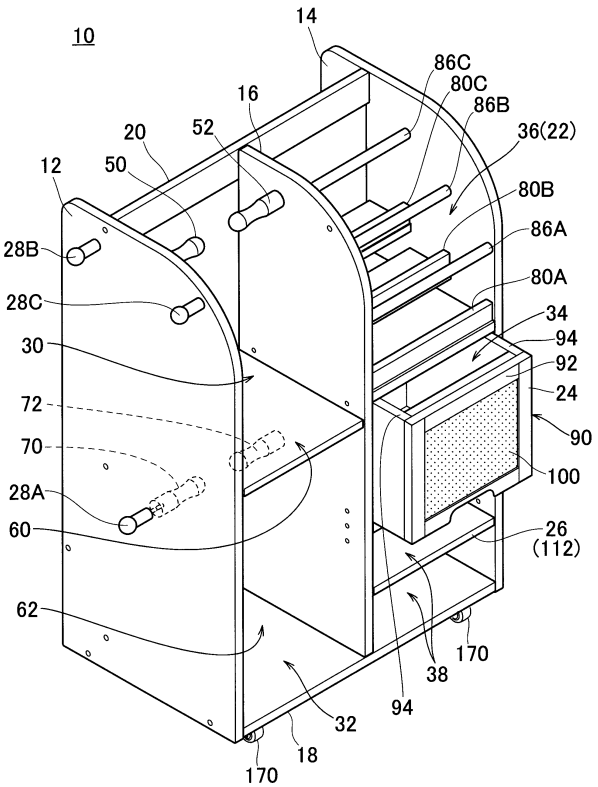
【図１７】



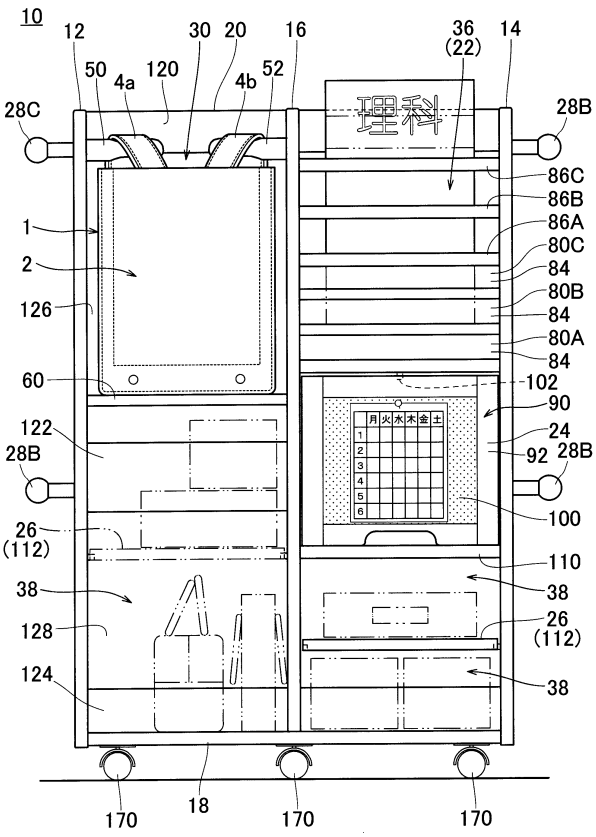
【図１８】



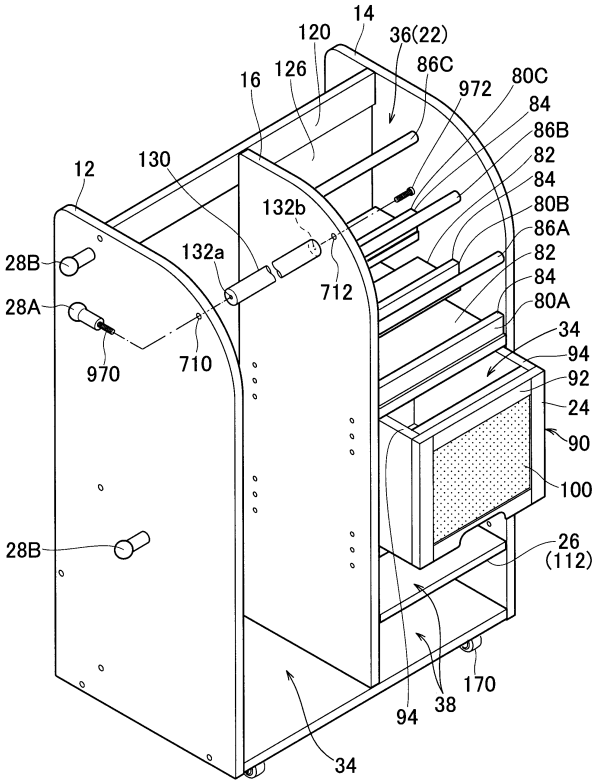
【図１９】



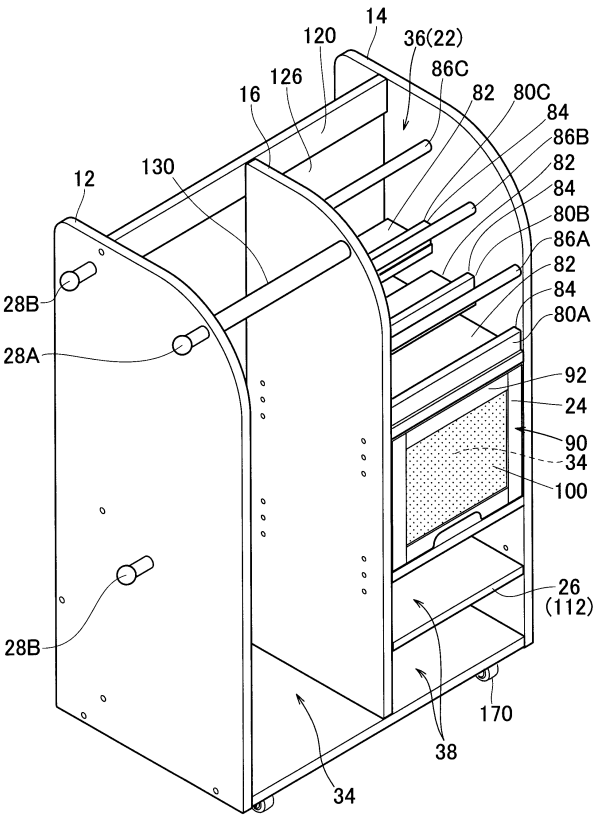
【図２０】



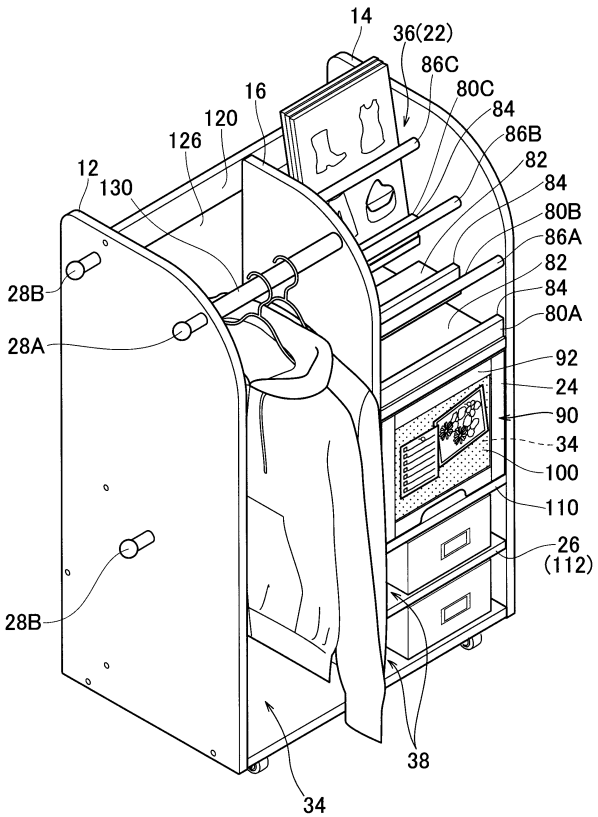
【図２１】



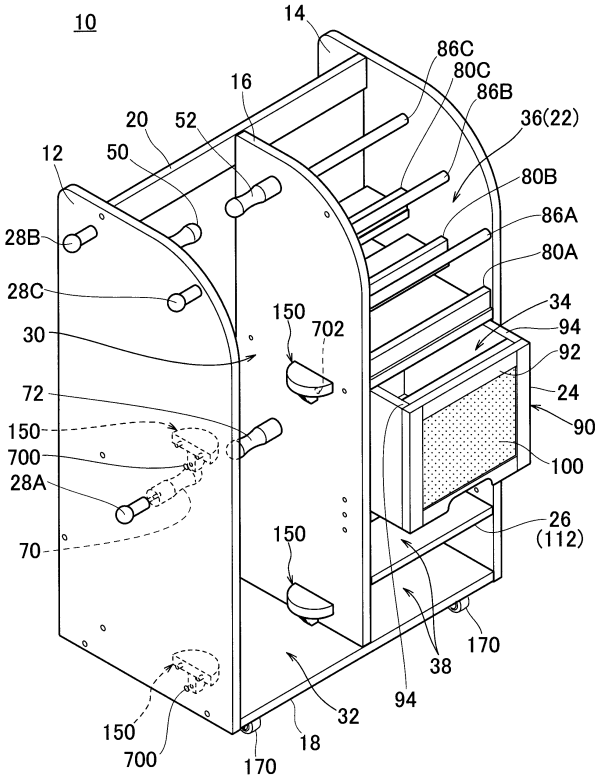
【図２２】



【図２３】

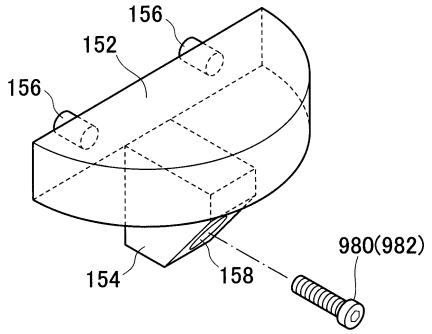


【図２４】

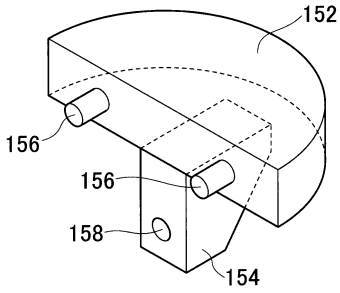


【図２５】

(A) 150

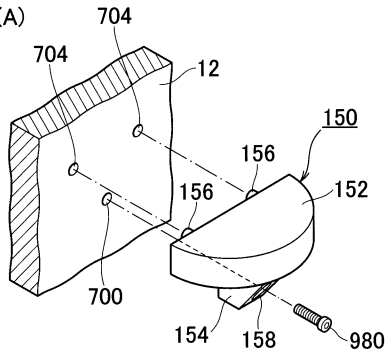


(B) 150

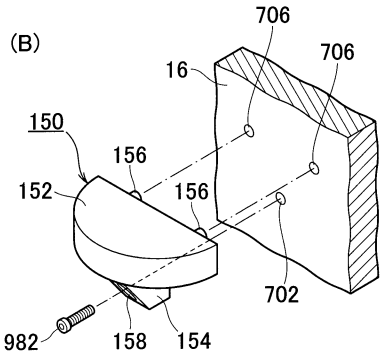


【図２６】

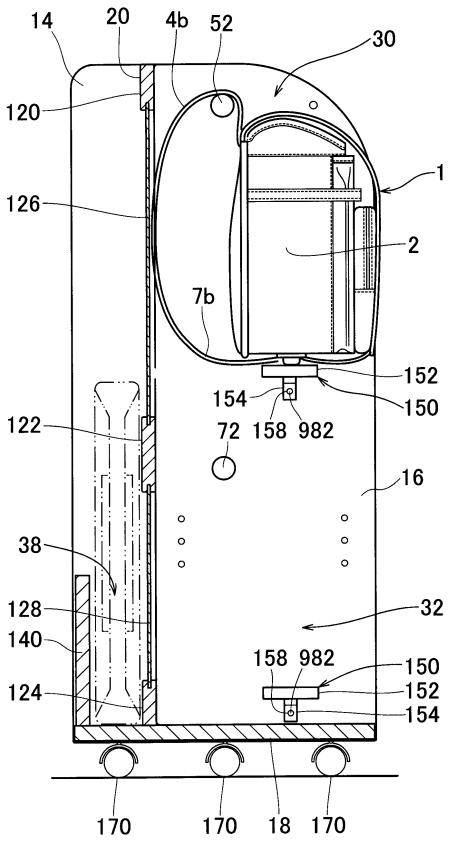
(A)



(B)

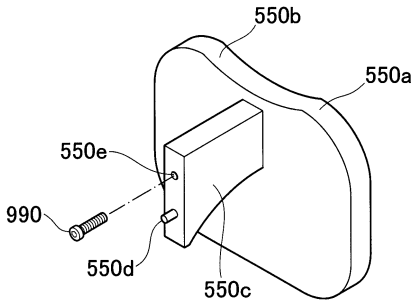


【図２７】

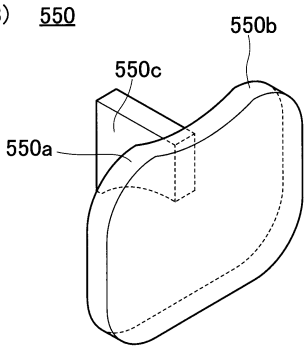


【図２８】

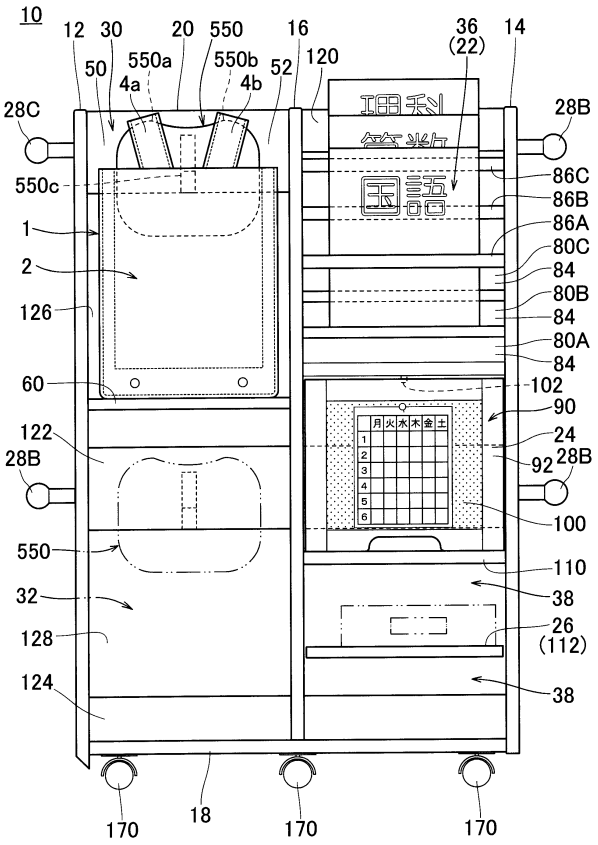
(A) 550



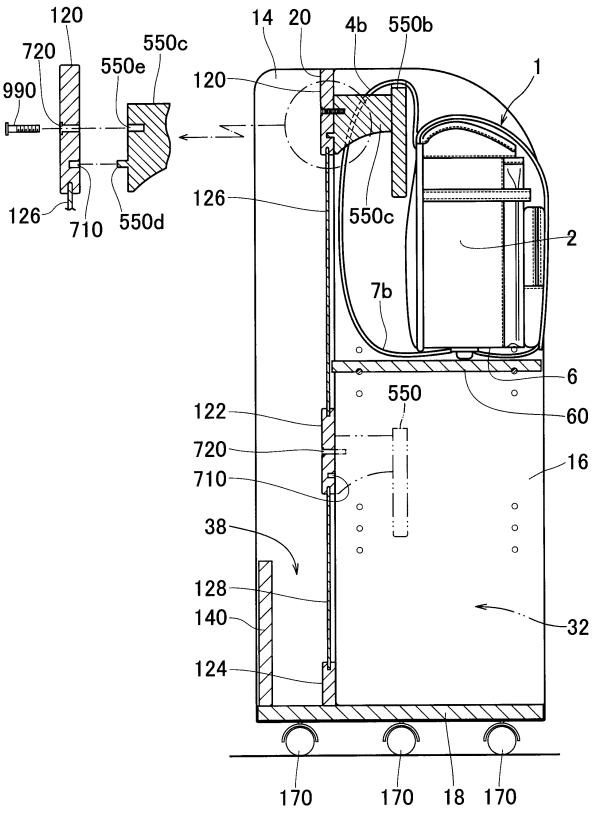
(B) 550



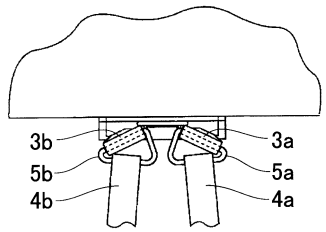
【図２９】



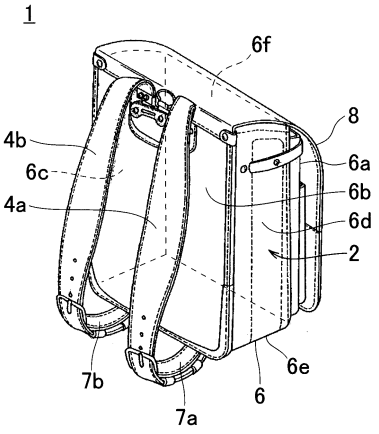
【図３０】



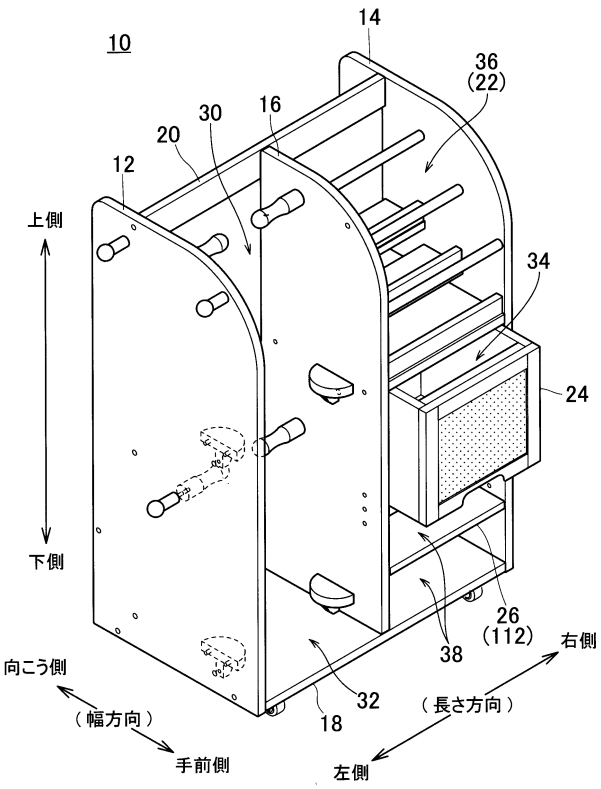
【図３１】



【図３２】



【図３３】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開２０１２－０５５６２３（ＪＰ，Ａ）
特開２００８－０５４８０３（ＪＰ，Ａ）
特開２００９－２９７２７９（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ａ４７Ｂ　８１／００